

小学校教科用図書選定に必要な資料（令和5年度作成）

# — 小 学 校 —

「選定に必要な資料」の活用について

国 語	1
書 写	8
社 会	15
地図(社会)	22
算 数	28
理 科	38
生 活	48
音 楽	59
図画工作	65
家 庭	71
保 健	77
英 語	87
道 徳	97
参考資料	107

「選定に必要な資料」は、いずれの種目（教科）においても、次の4つから構成されている。

- ① 観 点 の 内 容：「観点」「観点のための研究調査事項」「指導についての留意事項」を示したもの
- ② 調 査 方 法：カウントした内容・項目について説明したもの
- ③ 調 査 結 果：「観点のための研究調査事項」について○印を入れて示したもの
- ④ 選 定 の た め の 参 考：各発行者の特長を総合的に文章表記したもの

# 小学校教科用図書「選定に必要な資料」の活用について

滋賀県教育委員会

## 1 「選定に必要な資料」作成にあたっての基本的な考え方

- (1) 「選定に必要な資料」を作成するにあたっては、文部科学省の指導通知に基づき、各採択権者において、より参考となるよう内容の一層の工夫・充実を図った。
- (2) 研究調査については、種目（教科）ごとに学習指導要領に示された目標を達成するための観点を中心として、「観点」「観点のための研究調査事項」「指導についての留意事項」を設定し、客観性を重視した。
- (3) 「観点のための研究調査事項」については、種目（教科）ごとに各発行者の特長を○印で示した「**調査結果**」を作成した。他の教科書との比較の上、その教科書で重きを置いている研究調査事項の3つに○印を付した。
- (4) 「**選定のための参考**」については、「**調査結果**」を基に種目（教科）ごとに特長を総合的に文章表記した。
- (5) 小学校英語の教科書採択については、小学校英語のデジタル教科書を調査し、考慮の一事項とすることができるとされていることから、種目 英語においては、学習者用デジタル教科書の機能等についても調査研究を行った。

## 2 「選定に必要な資料」活用にあたっての留意事項

- (1) 「**選定のための参考**」を熟読し、調査研究に活用すること。
- (2) 「**調査結果**」の○印のみに注目することなく、総合的に研究調査をすること。
  - ① 「**調査結果**」の○印と併せて、教科書での取扱い・取り上げ方についても、十分調査研究をすること。
  - ② 「**調査結果**」の元資料として、観点のための研究調査事項について、項目数やページ数をカウントして作成した「**調査結果（数値）**」を、参考までに資料の最後に添付している。
- (3) 「研究調査事項」については、「指導についての留意事項」で示した内容をふまえて研究調査に活用すること。
- (4) 「**調査方法**」については、種目（教科）ごとに示しているので、「**調査結果**」を見る際の参考にすること。

# 国語

東京書籍

教育出版社

光村図書

## 観点の内容

### 国語科 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な言語文化や言葉の特徴やきまり、使い方に関する内容を取り上げている箇所数</li> <li>・情報の扱い方に関する内容を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の言語活動の中にある言葉の特徴やきまりなどに気付くことや、学習したことを日常の場面に生かすことを意識しながら学習できるように留意する。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話すこと・聞くことを学習課題として取り上げたり、学習活動を学習過程の中に示したりしている箇所数</li> <li>・書くことを学習課題として取り上げたり、学習活動を学習過程の中に示したりしている箇所数</li> <li>・読むことの力を高めるための文章の種類や内容について、文学的文章、説明的文章、詩・短歌・俳句等の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話すこと・聞くことを一体的にとらえ、説明、発表、対話、討論などの言語活動を通して、目的に応じて効果的に話をしたり、相手の意図を捉えながら聞いたりすることができる言語能力を意図的、計画的に育成する。 第1学年及び第2学年は年間35単位時間程度、第3学年及び第4学年は年間30単位時間程度、第5学年及び第6学年は年間25単位時間程度を配当する。</li> <li>・説明、記録、手紙、感想などを書くことや、意見発表のための文章や資料を作成するなどの言語活動を通して、相手や目的に応じ、条件に合わせて効果的な文章を書くことができる言語能力を意図的、計画的に育成する。 第1学年及び第2学年は年間100単位時間程度、第3学年及び第4学年は年間85単位時間程度、第5学年及び第6学年は年間55単位時間程度を配当する。</li> <li>・多様な文章を取り上げ、内容や要旨を捉えながら読む、調べるために読む、音読や朗読する活動を通して、目的に応じて文章の内容を的確に読みとることのできる言語能力を意図的、計画的に育成する。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の言語活動例に関わる内容の数</li> <li>・目的に応じた読書への誘いを内容とする学習課題の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような言語活動を通して資質・能力を育成するか明確にする。</li> <li>・児童の読書意欲を高め、日常生活における読書活動につながるように留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 国語 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統的な言語文化を取り上げている箇所数について調査を行う。 例) 昔話、俳句、短歌、古文、漢文等</li> <li>・ 言葉の特徴やきまり、使い方に関する内容を取り上げている箇所数について調査を行う。 例) 話し言葉と書き言葉、ローマ字、主語と述語、修飾語、敬体と常体、比喩、音読や朗読等</li> <li>・ 情報の扱い方に関する内容を取り上げている箇所数について調査を行う。 例) 関係、整理の仕方、手段等</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話すこと・聞くことを学習課題として取り上げたり、学習活動を学習過程の中に示したりしている箇所数について調査を行う。 例) 感想を述べる、少人数で話し合う、調べたことを話す・聞く、グループや学級で話し合う、自分の考えを話す・聞く等</li> <li>・ 書くことを学習課題として取り上げたり、学習活動を学習過程の中に示したりしている箇所数について調査を行う。 例) 経験したことを書く、記録する、伝えたいことを書く、想像したことを書く、考えたことを書く等</li> <li>・ 読むことの力を高めるための文章の種類や内容について、調査を行う。 例) 文学的文章、説明的文章、詩・短歌・俳句等</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領の言語活動例に関わる内容の数について調査を行う。 例) 他教科等の学習や学校の教育活動全体と関連させる活動</li> <li>・ 目的に応じた読書への誘いを内容とする学習課題の箇所数について調査を行う。 例) 本、新聞、雑誌、調べるための資料等</li> </ul>

<p>デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・ 理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>
-------------------	--

# 調査結果

## 国語

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
調査研究事項	発行者	伝統的な言語文化や言葉の特徴を取り上げている箇所数	情報の扱いに関する内容を取	話すこと・聞くことを学習過程の中に示したり、学習活動	書くことを学習課題として取り上げたり、学習活動をして示したりしている箇所数	読むことの内容を高めるための文章、類文、説明的文章、詩・短文等の数	学習指導要領の言語活動例に関	目的に応じた読書への誘いを内
		東京書籍	1年生		○	○		
2年生				○		○	○	
3年生			○			○		○
4年生			○			○		○
5年生			○				○	○
6年生			○				○	○
教育出版	1年生				○	○	○	
	2年生	○	○		○			
	3年生	○	○	○				
	4年生	○		○		○		
	5年生	○	○			○		
	6年生	○			○	○		
光村図書	1年生				○	○	○	
	2年生	○	○		○			
	3年生			○	○		○	
	4年生				○	○	○	
	5年生	○			○		○	
	6年生	○		○				○

種目名 国語	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年生以上で「言葉相談室」を設け、言葉遊びや練習問題を例示し、語彙の拡充と文法表現の定着を図っている。</li> <li>・ 日常生活や学習活動で意識したい語彙が、巻末付録「言葉の広場」と「学習に使う言葉」にまとめられている。</li> <li>・ 入門期において、音節の特徴を簡単な動作と記号で表し、音と文字との関係を体感的に捉えることで、特殊音節に関する理解を促している。</li> <li>・ 2年生以上で「情報のとびら」を設け、「情報の扱い方に関する事項」を「関係・論理・整理・調査」の観点で系統立てて学べるようにしている。</li> <li>・ 「読むこと（説明的な文章）」と「書くこと」の単元の間「情報のとびら」を配列することで、学習活動の中で、情報の扱いに関する事項を身に付けていくことを促している。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「書くこと」の単元では、複数の資料が提示されており、情報を比較したり、書き表し方を分析したりできるようになっている。</li> <li>・ 2年生以上で「読むこと」の単元の始まりに、学習の流れとともに教材文の挿絵や写真が見開き2ページで掲載してあり、興味を引くよう工夫されている。</li> <li>・ 説明的な文章では、二つの文章を比べることで、その文章の違いに気付くことができるように工夫されている。また、児童が読みたい、知りたいと思えるようなタイトルと教材を用いることで、語や文に着目しながら読み進められるようにしている。</li> <li>・ 単元で身に付けたい力を「言葉の力」として学習過程の中核に位置付け、図解・イラストとともに明示されており、学習のポイントがわかるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の読書体験を豊かにするために、6年間で580冊以上の多様なジャンルの本が紹介されている。</li> <li>・ 単元の終わりにある「生かそう」では、他教科や日常生活と関連を図るための例が示されている。</li> <li>・ 学習の流れが「見通す・取り組む・振り返る」の3つの段階に示されており、何をどのように学ぶのかそのプロセスが視覚的に示されている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「話すこと・聞くこと」の単元では、資料や教科書の会話例に基づいたモデル動画などが用意され、活動の参考にすることができる。</li> <li>・ エラーモデル動画が提示されており、どのように改善すればよいか、児童の思考を促す工夫がなされている。</li> <li>・ デジタル教材が豊富で、「資料室」の二次元コードには、学年ごとに「学習で使う言葉」「デジタルノート」などが格納されている。</li> </ul>
------------	---

種目名 国語	発行者名	教育出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻末付録に「言葉の木」が掲載されており、児童が連想しながら言葉を増やしていくことができる。</li> <li>・ 「言葉」のコーナーを単元末に設け、言葉の意味、働き、使い方に着目することを促している。</li> <li>・ 「言葉を増やそう」では、教材内で扱われた言葉と関連のある言葉が提示されており、語句集めと文作りの活動を通して、語彙の拡充を図れるようにしている。</li> <li>・ 音読・暗唱に適した古文・漢文から、四季折々の美しい言葉を味わう小教材や、昔から親しまれてきた言葉遊びなどの小教材を位置付け、日本語のリズムや響きを味わえるようにしている。</li> <li>・ 巻末付録に「情報のまとめ」が設けられ、情報の扱い方に関する事項がまとめられている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「話すこと・聞くこと」の単元では、話合いの流れと共に、記録の例も示されており、情報の整理・分類方法について考えられるようにしている。</li> <li>・ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、日常生活や学校生活に関連した題材を設定し、児童の実生活に結び付いた活動になるよう工夫されている。</li> <li>・ 「読むこと」の教材では、6年生で津田梅子の伝記を掲載するとともに、説明的な文章の前には、統計的な資料を用いることで身に付けた力を活用しながら読み進めることができる。</li> <li>・ 説明的な文章と、「話すこと・聞くこと」および「書くこと」を関連付けて展開できるような教材の配置がなされている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ひろがる読書の世界」が、2年生以上の夏休み前の学習時期に設けられ、読書意欲が高まるようジャンルを問わず、あらすじ付きで紹介されている。</li> <li>・ 巻頭の「〇年生で学ぶこと」では、どのような言葉の力をつけていくのかが示されている。</li> <li>・ 単元ごとに、言語活動の具体的な場面が、イラストや図版で示されており、児童がそれぞれの学習過程でどのように活動すればよいのか理解できるように工夫されている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「まなびリンク」では、ウェブサイトと連動して充実した情報を取り出せるように工夫されている。</li> <li>・ 説明的な文章では、教材文と関連する動画が、「NHK for school」と連動して紹介されており、教材への理解を深めることができる。</li> <li>・ 文学的な文章では、作者の経歴やシリーズの紹介が掲載されており、作者や作品への理解を深めることができる。</li> </ul>
------------	---



種目名 国語	発行者名	光村図書出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」の単元では、教材に出てくる着目すべき言葉や表現を取り上げ、言葉の働きや使い方などに着目して学習に取り組めるようにしている。</li> <li>・特設単元「言葉について考えよう」では、キャラクターの失敗や悩みを通して、言葉について楽しく考えながら理解を深められるようしている。</li> <li>・巻末付録として「伝え合うための言葉」「言葉の宝箱」を掲載し、語彙や文法表現に活用できるようにしている。</li> <li>・2年生以上の「情報」では、情報の扱い方に関する重要なポイントを端的にまとめている。また、各領域の学習活動と関連付けて配置されており、学習したことが身に付くよう工夫している。</li> <li>・2年生以上の巻末に「図を使って考えよう」を設け、思考ツールの使い方と情報を伝えるときの言葉についてまとめられている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生以上の教科書の初めに「言葉の準備運動」を設け、コミュニケーションを取るゲームなどを通して仲間づくりをし、「話すこと・聞くこと」の単元をスムーズにスタートが切れるように工夫されている。</li> <li>・「書くこと」の単元では、指導事項を適切に身に付けるために、様々な文章の種類を書いたりまとめたりする経験が積めるように構成されている。</li> <li>・「読むこと」の単元では、従来から掲載されている「大造じいさんとガン」のような教材の他に、新たに、自分と同年齢の登場人物の話や、デジタル化社会に関連するような教材などが入った。</li> <li>・3年生以上の説明的な文章が、2つの教材で構成されており、一つ目の短い教材で構成や要約、要旨の捉え方をつかみ、二つ目の教材で学習を深め、その力を活用できるようにしている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本は友達」では、日常的な図書館利用を促し、読みたい本を見つける方法や、知りたいことを知るための方法を身に付けるよう工夫されている。また、紹介されている本について原作を数ページにわたって掲載することで、読書への興味を喚起している。</li> <li>・巻頭に「〇年生で学ぶこと」を設定し、前学年までの言葉の力を振り返り、これからの学習にどう生かすかを考えることができるようにしている。</li> <li>・2年生以上の各領域の単元に「問いをもとう」を設け、単元の話題・題材や学習内容に関連させ、これまでを振り返ったり、どんなことをしてみたいか考えたりすることで、児童が課題意識・目的意識をもてるようにしている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏表紙にSDGsや防災、学校で使う日本語など、教科を超えて活用できる資料が収録されている。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」の単元では、活動の実写動画を収録するとともに、問いをもつための動画も掲載され、考えるための視点作りに利用できる。</li> <li>・低学年では物語文に、本文の音読と合わせて教科書の挿絵を使ったアニメーション動画が収録されており、物語の世界を楽しめるよう工夫されている。</li> </ul>	

# 書 写

東 京 書 籍

教 育 出 版

光 村 図 書

## 観点の内容

国語科書写 目標（国語科の目標に準ずる。）

- (1) 文字を正しく整えて書くことができる。
- (2) 硬筆を使用する書写の能力の基礎を養う。
- (3) 書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点画の種類や字形、筆順の例示掲載数</li> <li>・姿勢や筆記具の持ち方など書き方についての注意例の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆を使用する書写の指導が、毛筆書写技能の育成で完結してしまわないように、毛筆と硬筆との関連的な指導を一層工夫するよう留意する。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手本となっている文字の数</li> <li>・手本に関わる例示の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬筆を使用する書写の指導は各学年で行い、必要に応じて、取り立てて指導したり、〔思考力、判断力、表現力等〕に示す事項と関連付けたりするように留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な用紙（ノート、模造紙、手紙、半紙、画仙紙など）への縦書き、横書き例や筆記具の紹介例の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写の学習で身に付けた資質・能力を、各教科の学習や生活の様々な場面で積極的に生かし、適切に書けるように留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 書写 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点画の種類や字形、筆順の例示を掲載している箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 横画、縦画、左払い、右払い、折れ、曲がり、そり、点等</li> <li>・姿勢や筆の持ち方など基本的な書き方についての注意の箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 始筆から送筆、終筆の止め、はね、払いまでを意識して丁寧に書くなどの記述</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬筆、毛筆の手本の大小を問わず、手本数について調査を行う。</li> <li>・手本を書く際の留意事項（文字の大きさや字間、筆づかいなど）を解説している箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 形についての注意書き等</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p style="text-align: center;">学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート、模造紙、手紙、半紙、画仙紙など様々な用紙に縦書きの例、横書きの例や紹介されている筆記具の数について調査を行う。</li> <li>例) ノートに書く、パンフレットを作る、手紙を書くといった具体的な活動の例示、硬筆で書くとよいか、毛筆で書くとよいか、情報機器の方が効果的かなどの記述</li> </ul>

<p style="text-align: center;">デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>
---	--

# 調査結果

# 書写

		観点A		観点B		観点C
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
発行者	調査研究事項	点画の種類や字形、筆順の例示掲載数	姿勢や筆記具の持ち方など書き方についての注意例の数	手本となっている文字の数	手本に関わる例示の数	様々な用紙（ノート、模造紙、手紙、半紙、画仙紙など）への縦書きの例や筆記具の紹介例の数
		東京書籍	1年生		○	○
2年生			○	○		○
3年生			○	○		○
4年生			○	○		○
5年生			○	○	○	
6年生			○	○	○	
教育出版	1年生	○	○		○	
	2年生	○			○	○
	3年生	○			○	○
	4年生	○			○	○
	5年生	○			○	○
	6年生	○	○			○
光村図書	1年生	○			○	○
	2年生	○	○		○	
	3年生	○	○			○
	4年生		○	○		○
	5年生		○	○		○
	6年生	○	○			○

種目名 書写	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年では、右利きと左利きの両方の鉛筆の持ち方を写真とともに示している。第3学年では、毛筆の場合、用具を左右入れ替えると書きやすいということが写真で示されている。</li> <li>・書き込み欄を上下左右に配置することで、利き手に関わらず、教材文字が見えるように工夫されている。</li> <li>・点画、折れ、払いなどの例示が、短い言葉で的確に示されている。低学年では、点画の書き方の特徴を動物のキャラクターの動きと擬態語を使って表現し、児童それぞれの理解の仕方に合うよう感覚に働きかける工夫がされている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬筆、毛筆ともに手本となっている文字の数が豊富で、手本を書く際の文字の大きさや字間、筆使いなどが簡潔に示されている。</li> <li>・第3学年以上は、「1 見つけよう」「2 確かめよう」「3 生かそう」と、硬筆の中から見出した課題を、毛筆で確かな学びとし、その成果を硬筆に生かすという学習の流れが設定されている。</li> <li>・第3学年以上で、筆圧について話し合うなど対話的な学習を促す設問が掲載されており、仲間とともに考え、学びを深める工夫がされている。</li> <li>・系統的に整理した小学校の学習事項それぞれのポイントが「書写のかぎ」として示され、端的で分かりやすく説明されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や学校生活に役立つ教材が取り上げられ、具体的にイメージしながら学べるようになっている。</li> <li>・他教科と関連する箇所は、リンクマークで示されている。</li> <li>・児童が様々な観点から「文字文化」に触れることができるコラムが全学年に掲載されている。第2学年、第3学年では、鉛筆、消しゴム、筆、和紙、硯、墨など、様々な用具の作られ方について紹介され、動画を活用することで児童の興味や関心を高められるように工夫されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の場面に合わせて、全学年で151のコンテンツが用意されている。各時間の学習のポイントを示す動画やアニメーション、シミュレーションを授業の導入に活用することができる。</li> <li>・第3学年以上では、毛筆の手本を書く際に、ナレーション付きの運筆動画があり、本時のポイントがよく分かるものとなっている。</li> </ul>	

種目名 書写	発行者名	教育出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年では、楽しみながら鉛筆の持ち方が身に付くように、「ぱちぱち」「ころころ」というウォーミングアップ、「すうっ」「とん」などの合言葉が示され、よい姿勢、よい鉛筆の持ち方を定着、習慣化できるようになっている。</li> <li>・始筆、送筆、終筆について、穂先の向きや筆使いなどを言葉と写真で分かりやすく示すとともに、詳細に説明している。</li> <li>・第3学年の導入では、基本の筆使いを丁寧に分かりやすく示している。特に、力の入れ方（筆圧）を3段階で示し、視覚的に理解できるようにしている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の最初に「ためし書き」で自分の課題に気付き、授業の終わりに「まとめ書き」をして「ためし書き」と比べることで1単位時間における自分の成長を捉えられるようにしている。</li> <li>・第2学年と第4学年において、書写の学習用語を「書写の言葉」として取り立てて扱い、提示することで「対話的な学び」や「振り返り」に生かせるようにしている。</li> <li>・毛筆教材の図版は、墨の手本とともに朱墨の手本も掲載され、穂先の通り道を朱墨で示すことで、筆使いが分かりやすくなるよう工夫されている。</li> <li>・「ここが大切」で、各時間の留意事項が見やすくまとめられている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年において、手紙やはがきを書く活動が各学年の学習活動に合わせて、系統的に扱われている。</li> <li>・「レッツ・トライ」や「書いて伝え合おう」では、身に付けた書写の力を各教科や学校生活で生かせるような教材が示されている。</li> <li>・第6学年では、行書を紹介することで、中学校で学習する内容への興味や関心が高まるように工夫されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年と第3学年は表紙に二次元コードがあり、書写の学習や毛筆学習の意欲付けを行えるようにしている。</li> <li>・低学年では、硬筆の書き方に加え、水書で手本を書く様子を視聴することができる。</li> </ul>	

種目名 書写	発行者名	光村図書出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年の教材に「たいせつ」の欄を設け、手本以外の字を書く時にも活用できる基礎・基本が明確に示されている。</li> <li>・動物キャラクターの動きや、「すうっ」「ぴたっ」などの擬態語や擬声語を活用して、筆使いを直感的に理解できるように工夫されている。</li> <li>・第3学年における毛筆の導入を重視しており、点画の種類や字形、筆順に関する例示の掲載数が多い。手本となる例だけではなく、改善を要する例も掲載し、穂先の向きや字のバランスについて比較しながら学べるような構成になっている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年以上の各教材に「学習の進め方」が示され、見通しをもつことで、児童が主体的に取り組める工夫がされている。</li> <li>・右ページ下に「ねらい」「学習の進め方」「たいせつ」が示され、学習の流れやポイントが視覚的に分かりやすくなっている。</li> <li>・巻末では、「たいせつ」に示された各時間の留意事項が一覧できるようにまとめられ、確認しやすくなっている。</li> <li>・大切なことが一目で分かるように手本の文字の大きさなどを工夫したレイアウトとなっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年と第3学年に「スタートブック」が設けられ、硬筆、毛筆学習の入門期における基本を網羅するとともに、書写学習を着実にスタートできるよう工夫されている。書写での学習を日常へ生かせるよう、第6学年には、小学校での学習内容をまとめた「書写ブック」が設けられている。</li> <li>・第4学年の「SDGsブック」では、「書写のごみをゼロにする」「プラスチックフリーをめざす」など、SDGsの達成に向けた活動が紹介されている。</li> <li>・全学年に「先生・保護者の方へ」の欄を設け、書写の学習内容や家でできる取組を紹介している。</li> </ul>	
デジタル教材 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードの数が363点と豊富で、動画、写真、補充教材、参考資料、アニメーションと種類も多い。</li> <li>・毛筆の筆使いを解説した動画は、上からと斜めから撮影された映像があり、ポイントの解説とともに確認することができる。</li> </ul>	



# 社 会

東 京 書 籍

教 育 出 版

日 本 文 教 出 版

## 観点の内容

### 社会科 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けた社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や我が国の地理的環境、歴史や伝統文化、政治の動き、我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割について理解するための教材や学習活動の箇所数</li> <li>・年表、地図、図、写真等の箇所数や資料の比較、意見の交流や記述を促している箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や我が国の地理的環境、地域や我が国の歴史や伝統文化、現代社会の仕組みや働きを通して、社会生活についての総合的な理解を図るための知識を習得させることに留意する。</li> <li>・調査活動や諸資料の活用など手段を考えて問題解決に必要な社会的事象に関する情報を集める技能、集めた情報を読み取る技能、読み取った情報を問題解決に沿ってまとめる技能を児童が身に付けるよう指導することに留意する。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の国土と産業の様子や特色を総合的に理解することを取り扱っている教材や学習活動の箇所数</li> <li>・身近な地域及び国土の遺跡や文化財などの観察や調査に対する関心を高める内容を取り扱っている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて、学習したことを基に、社会への関わり方を選択・判断する資質・能力を目指すことに留意する。</li> <li>・考えたことや選択・判断したことを説明する力や、考えたことや選択・判断したことを基に議論する力と資料等を用いて作品にまとめたり図表に表したりする表現力を育成できるように留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象について、主体的に学習の問題を理解し、行動につながる教材や学習活動の箇所数</li> <li>・自分たちの住んでいる社会生活を総合的に理解するための教材や学習活動の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度が育成できるように留意する。</li> <li>・地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さを捉えるように留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 社会 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の歴史や伝統文化、政治の動き、我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割について理解するための教材や学習活動の箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「歴史上の人物」と「代表的な文化遺産」が記載されている箇所及び世界の国の人々の生活と国際交流の役割について記載されている箇所</li> <li>・年表、地図、図、写真等の箇所数や資料の比較、意見の交流や記述を促している箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 年表、地図、図が記載されている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の国土と産業の様子や特色を総合的に理解することを取り扱っている教材や学習活動の箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 領土に関する記載がされている箇所及び日本の貿易や運輸について記載されている箇所</li> <li>・身近な地域や市の様子の変り変わりなどの観察や調査に対する関心を高める内容を取り扱っている箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方について具体的に記述されている箇所や、元号・少子高齢化・国際化について記載されている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象について、主体的に学習の問題を理解し、行動につながる教材や学習活動の箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 自然災害に関して記載されている箇所及び情報を生かして発展する産業について記載されている箇所</li> <li>・自分たちの住んでいる社会生活を総合的に理解するための教材や学習活動の箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 地域の生産や販売に携わっている人々の働きについて記載されている箇所や滋賀県について記述されている箇所</li> </ul>

<p>デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>
-------------------	--

調査結果

社会

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
調査研究事項	発行者	所解にとや地	をや年	数扱を我	所を財身	る習社	習総百
		数すお関伝域	促資表	我が	高な近	教の問的	活合的
		るけの係統や	して料、地	総合的	めどのな	材の事象	動的に
		ため我の深、	いての図、	に理的	るの観	やを理	のに理
		の我が、国	比較、図、	教解と	内容を	習活し	解する
		の国の政治	見の、写	や学す	取り調	動の、	た
		の生活の動	真等の	習活	査に	行、	る
		や割や環	交	活	対	動に	た
		つ国際	流	動	す	つ	め
		いて社	や	の	る	な	る
		の理国	記述	簡	関	が	る
		史		所	心		る
東京書籍	3年生	○		○		○	
	4年生	○		○		○	
	5年生	○		○		○	
	6年生	○		○		○	
教育出版	3年生			○		○	○
	4年生	○				○	○
	5年生	○	○				○
	6年生	○		○			○
日本文教	3年生		○		○		○
	4年生		○		○		○
	5年生		○		○		○
	6年生		○	○	○		

種目名 社会	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生では、社会科の学習を導入する学年として、児童の学びに必要な語句・地図の読み取り方について「ことば」「用語解説」などの具体的な解説が掲載されている。</li> <li>・「まなび方コーナー」において「現地を見て歩く」のようにフィールドワークの方法が具体的に記してあり、学習技能を習得することができるように工夫されている。</li> <li>・初めて学ぶ社会的事象についての写真等の資料や、日常的でない語句の補足的かつ詳細な解説が多く、児童の理解が促されるよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめる」の学習では、「まなび方コーナー」で具体的な学習の流れを提示することで、児童の思考の流れを整理しやすくしている。</li> <li>・歴史学習では、時代ごとの変化等について、想像図や写真資料を左右に配置し、比較し検討したり判断したりできるよう工夫して掲載されている。</li> <li>・一つの学習課題に対して、複数の写真・地図・解説が掲載されていて、児童が資料を選択し、いくつかの資料を関わらせて課題解決できるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターを用いて「社会的な見方・考え方」を育てるための手立てになる問いが例示されている。</li> <li>・「つかむー調べるーまとめるーいかす」という「問いの構造」が分かりやすく例示されていることで、見通しをもって問題解決的な学習に取り組めるようにしている。</li> <li>・3、4年生では、各見開きに「まなびのポイント」を2項目ずつ示しており、子どもたちが1時間内にどのような学習を行えばよいかを提示している。4年生の「水はどこから」の学習における「いかす」の時間では、大切な水のために自分たちができることを話し合い、「選択・判断」を促すように工夫されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「都道府県カルタ」や「都道府県クイズ」など、楽しみながら学べるコンテンツに二次元コードでアクセスすることができる。</li> <li>・单元ごとに短い動画を設定し、児童が社会科の学習や单元の内容にイメージをもちやすいような工夫がされている。</li> <li>・单元ごとに「学習計画ワークシート」、「まとめるワークシート」を活用することができ、児童が单元を見通した学習を進められるよう工夫されている。</li> </ul>	

種目名 社会	発行者名	教育出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びのてびき」では、順位づけ・表の整理・リーフレットづくりなど学習内容の理解を促す学習活動が例示されている。</li> <li>・児童が自ら意味や内容を詳しく調べたり、学習のまとめで活用したりできるよう各ページに「キーワード」として、重要な語句や解説が端的に示されている。</li> <li>・「やってみよう」のコーナーでは、比較や交流をするための話題の例示や、文章等による記述を促す工夫がされている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学習活動の「まとめる」では、考える視点やまとめ方の例が示されているため、課題解決のイメージがもちやすく、また、学習内容を総合的に理解できるよう工夫されている。</li> <li>・SDGsの視点から学習を振り返るページが設定され、社会的事象と持続可能な社会に向けての取組、そして自分自身のくらしとのつながりや関わりについて意識して考えられるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生の「わくわく！社会科ガイド」では、地域調査、地図帳の活用、記録、表現の方法などを提示しており、子どもたちが主体的に学習を行えるよう工夫されている。</li> <li>・4年生の「わたしたちの県のまちづくり」の学習では、新しい取組を行い、地元を盛り上げようとする人びとの切実な願いを臨場感豊かに紹介することで、興味、関心をもちやすい工夫がされている。</li> <li>・「この時間の問い」を設けているため、単位時間ごとの学習問題が明確である。また「次につなげよう」で前後の学習につながりができ、一貫した追究活動が進められるよう工夫されている。</li> <li>・6年生の「憲法とわたしたちのくらし」の学習では、日本国憲法や法律を主体的に理解するために、パラリンピックや障害のある人の権利を保障する法律を取り上げることで、興味や関心をもち、学習に向かっていくことができる工夫がされている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードから「まなびリンク」につながり、「歴史上の人物クイズ」や「地図記号クイズ」など、児童が楽しみながら学べるよう工夫されている。</li> <li>・「NHK for school」や国土地理院など外部機関にリンクされており、児童が学習を主体的に深められる工夫がされている。</li> <li>・「まなびリンク」には単元ごとに短時間で見られる動画が多数収録されており、児童が単元の学習にイメージをもてるよう工夫されている。</li> </ul>	
------------	--	--

種目名 社会	発行者名	日本文教出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史学習では、時間や時代のつながりをつかみ、調べ学習などが進められるよう、単元や学習内容に応じて年表が掲載されている。</li> <li>・3年生の「工場や消防」の単元では、写真資料において矢印を用いた仕事の手順が効果的に示され、作業時間・場所・工夫について、深い気付きが生まれるよう、工夫して掲載されている。</li> <li>・4年生の「くらしをささえる水」や「地震による災害」において、学習課題を多面的に見て理解を促すため、同じような構図で2つの写真資料が掲載されている。様々な場面で水が使われたり、多様な被害があったりしたことなどを示したりして工夫して配置されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめ方や話し合いの仕方を示すことにより、児童が表現力や思考力を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>・「見方・考え方コーナー」を設け、空間や時間、関係性など様々な視点を示すことで児童の思考を促し、資料の観察や調査に対する関心を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>・「見る・調べる」「読み取る」「表現する」と区別された「学び方・調べ方コーナー」では、児童の学習活動が順を追って具体的に例示されている。</li> <li>・5年生の「これからの食料生産」の学習では、これからの日本の食料生産の問題を解決するために、タブレットを活用した調べ学習を交流し、見直して発展させていく「深め合い」学習を提示することで、それぞれの思考を深めることができるように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsと関連づけて、学習内容が提示されたページを設けることで、日本や世界で見られる諸課題に対しての意識が高められるよう工夫されている。</li> <li>・各単元において、現場で働く人々の声を取り上げ、自分たちの住んでいる社会生活の問題として、主体的に学ぶことができるように工夫されている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「NHK for school」や博物館など外部機関にリンクされているので、児童が学習を主体的に深めることができるよう工夫がされている。</li> <li>・「見方・考え方コーナー」には、学習を深めるためのワークシートが多数掲載されており、児童が多角的な視点で学習を進められるように工夫されている。</li> <li>・様々なシミュレーションを行うことができ、「学び方・調べ方コーナー」の学習を更に深める工夫がされている。</li> </ul>
------------	--

# 地図（社会）

東京書籍

帝国書院



## 観点の内容

### 社会科 地図 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けた社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の活用方法を取り上げている箇所数</li> <li>・見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方を取り上げている箇所数</li> <li>・発達段階に応じた内容を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科用図書「地図」は、地図を効果的に活用することともかかわって、社会的事象を適切に見たり考えたりする能力を育てるために必要な教材である。教科用図書「地図」は、地名の位置を確認することができるだけでなく、社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわりを調べることもできる。こうした活用の仕方を身に付けるとともに、教科用図書「地図」を日常的に活用し、教科用図書「地図」への親しみをもたせ、問題解決のために教材として効果的に活用する知識や技能を育てるように留意する。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本図の数 (世界地図、日本地図、世界州別図、日本地域別図)</li> <li>・資料図の数 (社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわり、その他)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考察、構想（選択・判断）したことを、教科用図書「地図」を適切に用いて論理的に示したり、その示されたことを根拠に自分の意見や考え方を伝え合い、自分や他者の意見や考え方を「地図」に表したりする表現力を育成するよう留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の統計資料の項目数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科用図書「地図」を活用し、社会的事象について主体的に調べ分かって学習上の課題を意欲的に解決しようとする態度や、よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）したことを社会生活に生かそうとする態度を養うように留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 地図 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の使い方等を記載した箇所の調査を行う。 例) 地図の見方、地図記号の説明などが掲載されている箇所</li> <li>・地図の活用方法、見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方について、具体的な記述がある箇所の調査を行う。 例) 地図の活用方法などが掲載されている箇所</li> <li>・発達段階に応じた内容を取り上げている箇所数の調査を行う。 例) 3年生以上で活用する地図として、発達段階に応じた内容が掲載されている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地名や境界線、等高線、交通路等の基本的な地域の情報を掲載した地図を基本図とし、産業や自然等にかかわる資料情報を掲載した地図を資料図として数の調査を行う。 例) 基本図・資料図が掲載されている箇所</li> <li>・基本図を世界全図、日本全図、世界州別図、日本地域別図に分類し、箇所数について調査を行う。 例) 世界全図・日本地図・世界州別図・日本地域別図が掲載されている箇所</li> <li>・資料図を「社会的事象の様子や関係」、「自然環境とのかかわり」、「その他」に分類し、数の調査を行う。 例) 社会的事象・自然環境（自然災害や防災）について取り上げている資料図 ・写真・図が掲載されている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の統計資料の項目数の調査を行う。 例) 統計資料として掲載されている項目</li> </ul>

<p>デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>
-------------------	--

# 調査結果

## 地図

	観点A			観点B		観点C
	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
調査研究事項 発行者	地図の活用方法を取り上げている箇所数	見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方を取り上げている箇所数	発達段階に応じた内容を取り上げている箇所数	基本図の数（世界地図、日本地図、世界州別図、日本地域別図）	資料図の数（社会的現象の様子や関係、自然環境とのかかわり、その他）	巻末の統計資料の項目数
東京書籍		○	○	○		
帝国出版	○				○	○

種目名 地図	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や地図帳のきまり、使い方について、地図記号も交えて6ページにわたって詳しく掲載されている。</li> <li>・地図帳を手にする児童と同年代の児童がキャラクターとして登場し、地図の使い方やページごとに学習の要点を説明している。</li> <li>・首都東京やアフリカのページでは、地図資料だけでなく写真資料が掲載されており、児童の理解を促すよう工夫されている。</li> <li>・基本的な地図記号だけでなく、近年追加されたものや外国人向けのもの、世界の地図記号の掲載もあり、児童の地図作りや地域の理解に生かすことができるよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を作る際によくある間違いについて、登場するキャラクターが紹介し、改善点や地図を作る際に気をつけることなどについて、話合いを促すよう工夫されている。</li> <li>・ユーラシア、北極の基本図は、北極海を中心としたものであり、経度の意味やイギリスが0度であることなどが分かりやすく、わが国の位置についても思考を促すことができるよう工夫されている。</li> <li>・我が国の自然災害が見開きで大きく掲載されており、地震・台風など起こった自然災害の位置や備えについて、児童が話合い、考えることができるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くのページに「ホップ,ステップ,マップでジャンプ」という問題が掲載されていることで、児童が主体的に地図帳に向き合う工夫がされている。</li> <li>・巻末資料の「日本の歴史」のページでは、4ページにわたり、年表や世界との関わりや日本の領土について掲載されている。そのことで6年生の歴史学習において、視覚的に読み取りやすい工夫がされている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホップ,ステップ,マップでジャンプ」が一覧でわかるようになっている。</li> <li>・「EduTown SDGs」「キッズ外務省」など学習に役立つ外部機関へのリンクが掲載されているので、児童が興味、関心を高め、学習を深める工夫がされている。</li> <li>・各都道府県の白地図が掲載されているので、児童が地図を書き込んで使えるようになっている。「都道府県カルタ」や「都道府県クイズ」など、楽しみながら学べるコンテンツに二次元コードでアクセスすることができる。</li> </ul>	

種目名 地図	発行者名	株式会社帝国書院
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹園や田の地図記号がある場所や、等高線ごとの配色が工夫されており、地形や利用の様子が見やすくなっている。</li> <li>・地図と地図にかかわる写真資料やその解説が合わせて掲載されているページがあり、児童の深い理解を促すよう工夫されている。</li> <li>・「地図のなりたち」や「地図のやくそく」などの導入ページがあり、地図帳を初めて手にする3年生の児童が、地図の見方や地図記号に親しみ、楽しく学習できるよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界地図における基本図には、様々な資料図が掲載されている。中でも「アメリカ合衆国」のページでは、アメリカ合衆国を野球チームや農業、子どもたちの様子など多面的に見ることで、アメリカ合衆国という国を児童が多角的に考えることができるよう工夫されている。</li> <li>・「地図で世界発見!」、「地図で日本発見!」では、その地域の有名なものが掲載され、地図帳の導入として親しみやすいよう工夫されている。</li> <li>・瀬戸内海周辺の基本図と同じページに、原爆による被害状況がわかる広島市の資料図があることで、児童が資料を複合的に活用し、思考を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の「持続可能な開発目標(SDGs)」では、世界の課題に対する各地の取組を取り上げたり、その他の巻末資料にも関連のあるものにはSDGsマークを付けたりすることで、持続可能な社会の実現を目指す視点を養っている。</li> <li>・巻末の日本の統計では、国土や農業・林業・水産業、工業、くらしと環境などを色分けし、詳細な資料が載っていることから、5年生の児童が主体的に資料を選ぶことができるよう工夫されている。</li> <li>・6年生の歴史の学習でも活用できるように、巻末の「日本の歴史」のページでは、年表や歴史地名、歴史的な事項の舞台と現在の位置を比較関連させて掲載されているため、自分たちの住む地域の歴史的なつながりが意識できるよう工夫されている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県毎に統計資料を調べることができるので、児童が関心をもって自分の住んでいる都道府県や、学習に関連する都道府県の資料を活用できるよう工夫されている。</li> <li>・「NHK for school」や「外務省」など外部機関にリンクされているので、児童が興味、関心を高め、学習を深める工夫がされている。</li> <li>・地図クイズなど、児童が地図帳に興味・関心をもつよう工夫されている。</li> </ul>	
------------	---	--

# 算 数

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

啓 林 館

日 本 文 教 出 版

## 観点の内容

### 算数科 目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける「例・例題」「問・問題」の箇所数</li> <li>・学習のまとめ、公式や性質として扱っている事項の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身に付けるべき基礎的・基本的な内容の習得を重視するとともに、その背景にある概念や性質について理解を深めながら、概念や性質の理解に裏付けられた確かな知識及び技能を習得させることに留意する。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力、判断力、表現力等を身に付ける「例・例題」「問・問題」の箇所数</li> <li>・問題発見・解決する過程において、見通しをもち筋道を立てて考える内容を取り扱っている箇所数</li> <li>・具体物、図、言葉、式、表、グラフなどを用い、自分の考えを表現したり、説明したりする学習活動を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を解決したり、物事を判断したり、推論を進めたりしていく過程において、見通しをもち筋道を立てて考えて、いろいろな性質や法則などを発見したり確かめたり、筋道を立てて説明したりする資質・能力の育成を目指すことに留意する。</li> <li>・考えたことを目的に応じて柔軟に表現することを通して、数学的な表現の必要性や働き、よさについて実感を伴って理解できるように留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々の内容や方法などがもつよさを明らかにしていくような課題を取り扱っている箇所数</li> <li>・生活や学習の様々な場面で算数を活用する内容を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形の知識及び技能に含まれるよさや、数学的な思考、判断、表現等に含まれるよさ等に気付かせ、有用性、簡潔性、一般性、正確性、能率性、発展性、美しさなどの様々な視点から算数の学習を捉えるように留意する。</li> <li>・算数で学んだことを日常生活や学習に活用できるようにし、活用を重視した創造的な学習展開を用意することに留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 算数 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける「例・例題」「問・問題」の箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「例・例題」及び適用問題</li> <li>・学習のまとめ、公式や性質として扱っている事項の箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「( )のある式では、( )の中をひとまとまりとみて、先に計算します」「長方形の面積=たて×横」など、特だして記載されている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力、判断力、表現力等を身に付ける「例・例題」「問・問題」の箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「例・例題」の箇所及び適用問題</li> <li>・問題発見・解決する過程において、見通しをもち筋道を立てて考える内容を取り扱っている箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「24は20に近いから…」 「段の数と周りの長さには、どんな関係があるのかな。」 「どんなけががどこで多かったかを調べるには、どんな表に表せばいいかな」など、吹き出しなどで課題を明確にしたり、見通しをもたせたりする内容が記載されている箇所</li> <li>・具体物、図、言葉、式、表、グラフなどを用い、自分の考えを表現したり説明したりする学習活動を取り上げている箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「～を説明しましょう。」 「～のわけを言いましょう。」 「～図や式に表しましょう。」 など、表現したり、説明したりする活動</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々の内容や方法などがもつよさを明らかにしていくような課題を取り扱っている箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「折れ線グラフに表すとよいのはどれですか。」 「折れ線グラフは、変わり方の様子を見るのに便利です。」 「表をつくると、きまりを見つけやすくなるね。」 など、問題やまとめ、吹き出しなどでよさについて記載されている箇所</li> <li>・生活や学習の様々な場面で算数を活用する内容を取り上げている箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「身の周りから、平行や垂直になっている面と面を見つけましょう。」 など、問題に設定されているものや、コラム等で算数を活用している場面の紹介</li> </ul>
<p>デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>



# 調査結果

## 算数

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
調査研究事項	発行者	身的数量や図形に関する基本的な知識及び技能を問・問題」の箇所数	学習のまとめ、公式や性質と学習のまつている事項の箇所数	思考力、判断力、表現力等を問・問題」の箇所数	問題発見・解決する過程において、見通しをもち筋道を立てて考える内容を取り扱っている箇所数	具体物、図、言葉、式、表、グラフなどを用い、説明したり表現したり、説明したりする学習活動を取り上げている箇所数	様々な内容や方法などがあるよさを明らかにしている箇所	生活や学習の様々な場面でする内容をとり上げ算
		東京書籍	1年生		○	○	○	
2年生	○			○			○	
3年生			○	○		○		
4年生			○		○	○		
5年生					○	○	○	
6年生			○	○		○		
大日本図書	1年生		○		○	○		
	2年生	○		○		○		
	3年生	○		○			○	
	4年生	○		○		○		
	5年生	○		○				○
	6年生	○		○		○		
学校図書	1年生	○		○			○	
	2年生				○	○	○	
	3年生				○	○	○	
	4年生		○		○		○	
	5年生	○				○	○	
	6年生		○		○		○	
教育出版	1年生			○	○			○
	2年生			○		○	○	
	3年生				○	○		○
	4年生				○	○		○
	5年生			○	○			○
	6年生	○		○				○
啓林館	1年生	○					○	○
	2年生		○		○		○	
	3年生	○			○			○
	4年生		○		○		○	
	5年生	○	○		○			
	6年生	○	○				○	
日本文教	1年生				○	○		○
	2年生	○				○		○
	3年生	○	○	○				
	4年生	○	○	○				
	5年生	○		○		○		
	6年生	○		○				○

種目名 算数	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の前半において、資質・能力を育むための吹き出しや補助発問などを設定している。単元の終末においては、当該単元で学習したことを「できるようになったこと」としてまとめられている。</li> <li>・毎時間のまとめが簡潔に表記されている。また、吹き出しが単元の前半よりも精選されており、見やすいよう工夫されている。まとめや吹き出しを見ると、1時間の学習内容が分かるように工夫されている。</li> <li>・まとめの後に学習したことを活用する「それなら」問題が適宜設定されており、問題解決の際に働かせた数学的な見方・考え方の価値を再確認し、学習を振り返ることができるようになっている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元内にある計算の方法や考えを説明する箇所に「（考えや理由を）説明しましょう」の指示文が設けられ、効果的かつ効率的に言語活動が取り入れられている。</li> <li>・単元の導入場面では、既習事項の確認に加えて、これから学習する内容を「問い」で示しており、学習の見通しがもてるよう工夫されている。</li> <li>・巻末の「考える力を伸ばそう」では、思考力、判断力、表現力等の育成を図る問題が用意されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入において、生活や学習の場面で算数を活用する内容を取り上げて、日常生活から課題を引き出すよう工夫されている。</li> <li>・まとめの下にある虫眼鏡マークでは、児童がさらに学びを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>・単元末にある「『できるようになったこと』『次に考えてみたいこと』はどんなことかな」では、学びを日常の生活で生かす場が設定されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つまずきやすい問題の類題や解説動画を掲載し、技能の定着を図っている。</li> <li>・「練習」では、練習問題の正誤判定と結果記録が自動で行われ、理解の定着度がつかみやすい設定になっている。</li> <li>・「表・グラフツール」では、データを入力すると、自動で表やグラフ、百分率が算出され、グラフ作成のための時間が短縮されることで、データの分析力や判断力の育成により多くの時間を使うことができる。</li> </ul>	

種目名 算数	発行者名	大日本図書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知識、理解を深める「まとめ」の部分が、「用語説明」と「特徴の発見」に色分けされており、一目で分かるようになっている。</li> <li>・ 2年生以降の巻末に全領域にわたり、練習問題に対応した補充問題「プラスワン」が掲載され、問題の難易度も示されている。</li> <li>・ 単元末の「たしかめ問題」では、個に応じた指導や自己評価に活用できるよう、工夫がされている。また、全学年年間1冊の合本とし、振り返りや学び直しがしやすい構成になっている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での児童の話し合いや教師の発問例を示し、考え方の視点を明確にした問いが設定されており、学習の流れが分かるように工夫されている。</li> <li>・ 思考力、判断力、表現力等を身に付ける問題が授業時間ごとに書かれており、すっきりと見やすいレイアウトになるように構成を工夫している。</li> <li>・ 特設ページ「読み取る力をのぼそう」が、各学年に4つ設けられており、情報を読み取り、活用力、表現力をのぼす問題が用意されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の導入に、生活や学習の場面で算数を活用する内容を取り上げて、日常生活において課題を引き出せるように問題の場面を設定している。</li> <li>・ 単元末の「学んだことを生かそう」では、個々の習熟の状況に応じて選べるような内容を取り上げている。</li> <li>・ 「なるほど算数教室」では、日常生活において算数を見つけたり、学習したことを日常生活に生かしたりする内容を取り上げている。</li> </ul>	
デジタル教材 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書の練習問題以外の類題を収録しており、難易度も選べるようになっている。児童の理解を深めることができるような構成になっている。</li> <li>・ コンテンツからコンテンツへと素早くアクセスでき、問題の配置が見やすい。また、すぐに調べたい場所を読み込むことができる。</li> </ul>	

種目名 算数	発行者名	学校図書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻末では「もっと算数」の中に「ほじゅう問題」のページが設けられ、基礎・基本の確実な習得ができるようになっている。</li> <li>・ 単元末には「ふりかえろう」が設けられており、学習した内容を振り返ることで、学習を総合的に見ることができるよう工夫されている。</li> <li>・ 練習問題も例題と同じサイズで表示されているため、見やすくかつ取り組みやすい。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題を発見したり解決したりする過程において、見通しをもち筋道を立てて考えを進めるためのヒントとなる吹き出しを多く取り入れている。特に、導入場面において吹き出しを多く取り入れている。</li> <li>・ 学習の終わりにまとめを示した後、次の学習の見通しがもてる内容の吹き出しを取り入れ、学びのつながりを意識することができるように工夫されている。</li> <li>・ 3学年以降の特設ページ「図や表を使って問題を考えよう」では、問題解決にあたって、子どもが図や表を効果的に活用できるように設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決にいくつかの見方・考え方を示し、各々の内容や方法などがもつよさを、児童が今後の学習や生活の中で役立つものとなるよう設定されている。</li> <li>・ 単元の導入には、日常生活や身近なことから算数の問題を発見することで、興味、関心をもって単元の学習に入っていけるよう工夫されている。</li> <li>・ 特設ページ「ふり返ろう つなげよう」では、これまで学習してきた内容を、統合的、発展的に学びを深め、次の学習へとつなげることができるように設定している。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書に掲載されている問題の類題が収録されており、知識及び技能の定着のみならず、学びを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>・ 問題場面に類似する資料や、学習にかかわる資料が掲載されている外部リンクが紹介されており、学びを深めることができるように設定されている。</li> </ul>	

種目名 算数	発行者名	教育出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元末では、4コマ漫画で学習のまとめをしており、漫画を読みながら学習を振り返ることができる内容となっている。また、ページの下部に「算数広場」や「ヒント」「法則」など、学習に生かせる内容が提示されている。</li> <li>・単元の途中で復習のページが設けられているところがあり、既習内容が定着しているかを確認できるようになっている。</li> <li>・各単元のまとめでは、「なるほど!」と「だったら?」があり、学習内容を生かすことができないか考えられるように問いが設けられている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み手に問いかけるような語り口調の吹き出しがあり、吹き出しを読むことで思考を整理していけるように工夫されている。</li> <li>・各単元の途中にある「つながるミカタ」では、各単元の見方・考え方を明らかにし、次の問題解決の際に再度その見方、考え方をすることで、学びの深まりを実感できるよう工夫されている。</li> <li>・単元ごとに、間違いやすい問題に対して「考えるヒント」が設定され、つまづきを解消できるようにしている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入場面では、身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようになっている。</li> <li>・学習の中で、「はてな?」「なるほど!」「だったら!？」を設け、子どもが問いをもち、その問いをみんなで解決し、さらに新たな問いに向かう工夫がされている。</li> <li>・ページの最下部に「算数ひろば」があり、学校生活や様々な場面で算数を活用している場面が紹介されている。</li> </ul>	

デジタル教材 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「プログラミング教材」「表計算ソフト」では、シンプルな操作でプログラミング的思考や情報活用力の育成を図ることができるようになっている。</li> <li>・「作図や測定動画」では、教具の具体的な操作場面を動画で示しながら、音声と字幕でその手順を解説し、児童が自分のペースで繰り返し学ぶことができるようになっている。</li> </ul>
----------------	--

種目名 算数	発行者名	株式会社新興出版社啓林館
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めあて」に対応した「まとめ」が吹き出しや四角囲みで例示されており、主体的・協働的に学習することができるように構成されている。</li> <li>・単元末にある「学びのまとめ」の「たしかめよう」で、知識、技能に関する問題が取り上げられている。また、問題のねらいや学習したページを示して、振り返ることができるように工夫されている。</li> <li>・各単元の練習問題だけでなく、個々の習熟の状況に応じてさらに取り組むことができるよう、巻末に「もっと練習」が設けられている。また、中学校での学習にスムーズに入っていけるよう、学習内容と関連付けて、中学校で学習する内容を紹介している箇所がある。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を発見したり解決したりする過程において、見通しをもち筋道を立てて考えを進めるためのヒントとなる吹き出しを取り入れている。</li> <li>・思考を促す見方や考え方については、吹き出しの形を変えたり、学びのつながりが意識できる吹き出しにはマークを付けたりするなど、吹き出しを読み進めることで思考の流れが確認できるよう工夫されている。</li> <li>・「数学的な見方・考え方」を明確化し、価値づけられるように、児童が「数学的な見方・考え方」を働かせている様子にはマーカーを付して強調している。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入では、身近な事柄や既習事項を取り上げて、興味、関心をもって新しい学習へと入っていけるように工夫されている。</li> <li>・単元のまとめにある「ふりかえろう」では、単元全体を振り返る場面を設け、大切な見方・考え方などを確認することができるように設定されている。</li> <li>・単元末にある「算数ポケット」や「学びを生かそう」では、学習したことを算数や生活に生かして、算数の有用性を実感できるようにしている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「解説動画」のマークには、各時間における主問題全てにおいて、解説動画が収録されており、復習、予習や欠席児童等への補習といった児童の実態に応じた活用が可能な内容となっている。</li> <li>・「動かす」のマークでは、図形の学習において具体物の操作を行う際、時間をかけず、視覚に訴える活動を簡単に行うことができる。</li> </ul>	

種目名 算数	発行者名	日本文教出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元末に学習を振り返って分かったことをまとめており、単元でどのようなことを学んだのかを確認できる。また、各単元の前に「次の学習のために」が設けられ、既習事項を復習しながら次の学習につなぐ工夫がされている。</li> <li>・ 定義はかっこ囲み、まとめは花のマークで囲んであるので、大切なことが視覚的に分かりやすくなっている。</li> <li>・ 巻末の復習ページの問題数が多く、さらに「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」とレベル別に取り組むことができる。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算の仕方を比べたり、説明したりする問題では、計算例や考え方を提示している。</li> <li>・ 各学年の特設ページに「たすのかな ひくのかな」や、「どんな計算になるか考えよう」があり、問題からどのような式を立てるとよいのか考えるように工夫されている。</li> <li>・ 巻末に「もっとジャンプ」というページがあり、学んだことを柔軟に捉えて、論理的に考える力を育むことを目的とした問題が用意されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各単元のはじめに、児童の身近な事象や物を操作して考える内容などを題材として、単元の導入ページが設定されている。</li> <li>・ 単元末にある「使ってみよう」では、学んだことを生活の場面に活かし、算数の楽しさや算数に関わる様々な話題が取り上げられている。</li> <li>・ 学習の終わりには、「今日の学習をふり返りましょう」という小問があり、学習を振り返り、まとめることで思考を整理し、新たな学びへの興味や関心を喚起するよう工夫されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各単元のレディネス問題に取り組む際に必要なヒント（既習事項）や答えを掲載し、自学自習ができるようになっている。</li> <li>・ 問題解決において、操作活動が有効である場面を掲載し、試行錯誤したり、考えを表したりしながら学習を進めることができる。</li> </ul>	

# 理 科

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

信 州 教 育 出 版

啓 林 館



## 観点の内容

### 理科 目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
- (3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の過程を通してわかったことや学習のまとめを明示している箇所数</li> <li>・観察、実験において、器具や機器などの使い方に関する記述の箇所数及び事故防止等の安全に関する記述の箇所数</li> <li>・観察記録や実験結果を絵や文、表やグラフで表す学習活動を具体的に例示している箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が、問題解決の過程を通して、あらかじめもっている自然の事物・現象についてのイメージや素朴な概念などを、既習の内容や生活経験、観察、実験などの結果から導きだした結論と意味付けたり、関係付けたりして、より妥当性の高いものに更新していくことで、理解を深められるように留意する。</li> <li>・観察、実験などに関する技能については、器具や機器などを目的に応じて工夫して扱うとともに、観察、実験の過程やそこから得られた結果を適切に記録することが求められる。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の見だし、予想や仮説の発想、解決の方法の発想、より妥当な考えをつくり出すといった問題解決の力の育成に関わる学習活動を具体的に例示している箇所数</li> <li>・問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する学習活動を取り入れている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自然の事物・現象に親しむ中で興味・関心をもち、そこから問題を見だし、予想や仮説を基に観察、実験などを行い、結果を整理し、その結果を基に結論を導き出すといった問題解決の過程の中で、問題解決の力を育成するように留意する。</li> <li>・第3学年では主に差異点や共通点を基に問題を見だし、第4学年では主に既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想する、第5学年では主に予想や仮説を基に解決の方法を発想する、第6学年では主により妥当な考えをつくり出すといった問題解決の力の育成を目指している。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の栽培や昆虫の飼育等について、具体的な方法を示している箇所数</li> <li>・実生活や実社会と関連付けたコラムや科学史に関する読み物の箇所数及び発展的な内容の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の栽培や昆虫の飼育という体験活動を通して、生物を愛護しようとする態度が育まれ、植物の結実の過程や動物の発生や成長について観察したり、調べたりする中で、生命を尊重しようとする態度が育まれることに留意する。</li> <li>・意欲的に自然の事物・現象に関わろうとする態度、粘り強く問題解決しようとする態度、他者と関わりながら問題解決しようとする態度、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとする態度等の育成を目指していくことが大切である。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 理科 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の過程を通してわかったことや学習のまとめを明示している箇所数について調査を行う。</li> <li>・観察、実験において、器具や機器などの使い方に関する記述の箇所数及び事故防止等の安全に関する記述の箇所数について調査を行う。 例) 顕微鏡の使い方、電流計の使い方、メスシリンダーの使い方等 保護めがねをつけて実験を行う、窓を開けて実験を行う等</li> <li>・観察記録や実験結果を絵や文、表やグラフで表す学習活動を具体的に例示している箇所数について調査を行う。 例) 花のつくりを絵と文で表している 実験用てこがわり合うときのきまりを表にまとめている等</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の見だし、予想や仮説の発想、解決の方法の発想、より妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力の育成に関わる学習活動を具体的に例示している箇所数について調査を行う。</li> <li>・問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する学習活動を取り入れている箇所数について調査を行う。 例) 予想を話し合ったり、結果からどのようなことが言えるのかについて話し合ったりする場面が設定されている等</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の栽培や昆虫の飼育等について、具体的な方法を示している箇所数について調査を行う。 例) トンボやバッタの飼い方、種のまき方等</li> <li>・実生活や実社会と関連付けたコラムや科学史に関する読み物の箇所数及び発展的な内容の箇所数について調査を行う。 例) 日食や月食について、てんびんの歴史について、火山の熱の利用等</li> </ul>

<p>デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>
-------------------	--

# 調査結果

# 理科

		観点A		観点B		観点C		
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等		
調査研究事項	発行者	問題解決の過程を通してわかかったことや学習のまとめを明示している箇所数	観察、実験において、器具や機器などの使用に関する記述の箇所数	観察記録や実験結果を絵や文、表グラフで表している箇所数	問題の見だし、予想や仮説の発想を工夫する方法などといった問題解決の育成に関わっている学習活動の例示している箇所数	問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する学習活動を取り入れたい箇所数	植物の栽培や昆虫の飼育等について、具体的な方法を示している箇所数	実生活や社会と関連付けられた内容の読み物の箇所数
		東京書籍	3年生		○			
4年生			○				○	○
5年生			○				○	○
6年生			○				○	○
大日本図書	3年生				○	○		○
	4年生				○	○	○	
	5年生		○		○	○		
	6年生		○		○	○		
学校図書	3年生				○	○	○	
	4年生			○	○			○
	5年生			○	○	○		
	6年生				○	○		○
教育出版	3年生			○	○	○		
	4年生				○	○	○	
	5年生		○	○				○
	6年生		○		○	○		
信州教育出版	3年生	○		○				○
	4年生	○		○				○
	5年生	○		○				○
	6年生	○		○				○
啓林館	3年生	○		○	○			
	4年生				○	○	○	
	5年生	○			○	○		
	6年生			○	○	○		

種目名 理科	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめ」の内容は、「問題」の答えとなる表現となっており、学習のまとめが箇条書きで示されている。</li> <li>・安全に対しての配慮が必要な場面では、「きけん」と示されており、禁止事項とその理由を赤字で強調し、安全に注意して観察・実験を行えるよう工夫されている。</li> <li>・巻末には、実験器具の使い方や薬品の扱い方が掲載されており、正しく実験が行えるよう工夫されている。</li> <li>・単元末の「ふりかえろう」では、調べてきたことやまとめの内容を振り返ることができ、児童のノートのまとめ方の参考にもなるよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問題をつかもう」から「まとめ」までの問題解決の過程が1本の線につながっており、学びの流れが分かりやすく示されている。</li> <li>・「問題をつかもう」では、主体的・対話的な活動を通して、問題を把握することができるよう工夫されている。</li> <li>・各学年で重点的に育成を目指す「問題解決の力」に関わる場面では、児童が対話するイラストを用いるなど、対話を通して思考を深められるよう工夫されている。</li> <li>・巻末で「発表のしかた・話合いのしかた」というページを設け、話合いや発表をする際の留意点を示し、他の児童との対話がスムーズにできるように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培や飼育方法については、興味・関心が高まるように詳しく説明するとともに、コラムでも発展させた内容が掲載されている。</li> <li>・観察や飼育する活動において、生物愛護や生命尊重の態度を育むための記述が「しぜんをたいせつにしましょう」というマークで示されている。</li> <li>・「広げよう！理科の発想」では、学んだことを活かして日常生活で出会う事象について自分なりに考え発想を広げられるように資料が工夫されている。</li> <li>・「こんなところにも！」では、キャリア教育の他にもSDGs、STEAM教育など、学習内容と関連付けて考えられるコラムが掲載されている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験の手順や器具の使い方等を確認することができる二次元コードが示されており、児童が確認しながら安心して学習をすすめられるよう工夫されている。</li> <li>・「デジ問」では、動画を見るだけでなく、練習問題を解き、答え合わせも自動でできるため、家庭学習としても取り組めるように工夫されている。</li> </ul>
------------	---

種目名 理科	発行者名	大日本図書株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の答えは3・4年生では「わかったこと」、5・6年生では「結論」として、記載されており、その後に、結論を補充する形で説明が記載されている。</li> <li>・安全のために特に注意することは、「注意」として禁止事項とその理由を明示し、安全に注意して観察・実験を行えるよう工夫されている。</li> <li>・巻末の「理科室のきまり」では、器具の準備や片付けの仕方、正しい使い方などを示し、児童自身が確認できるよう工夫されている。</li> <li>・結果からわかったことを表やグラフにまとめた例が示されており、児童の得た情報をわかりやすく整理できるよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科の見方につながる着目点を「ココに注目」で示し、児童自身が理科の見方を働かせて、問題を見いだしたり、結果から考察を導き出したりできるように工夫されている。</li> <li>・当該学年で育成を目指す問題解決の力には☆マークをつけ、児童自身で意識しながら学習できるように工夫されている。</li> <li>・考察の場面では、観察・実験の結果から考えたことについて、話し合う活動が設定されており、話し合いを通して、より妥当な考えをつくりだす力を育てることができるように工夫されている。</li> <li>・問題解決の力を身に付ける活動場面において、多様な表現方法が示されており、児童の表現力が育まれるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育や観察を行う活動では、「環境」マークを用いて生物愛護や生命尊重に関する記述があり、生命を大切にしようとする態度を育む工夫がされている。</li> <li>・教科書がA4版になったことで問題解決の流れがよりわかりやすくなった。また、ダイナミックな写真や構図で児童の興味・関心を引き付けるように工夫されている。</li> <li>・「りかのたまてばこ」「Science World」などのコラムには、各単元に関する資料として、日常生活の身近な現象や生き物の生態に関する発展的な内容が掲載され、科学的なものの見方や考え方を広げる工夫がされている。</li> <li>・「深めよう」では、考察後の探究的な課題が与えられ、発展的に問題解決を図ることができる内容が掲載されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験の場面では、ページ下部にある二次元コードから、観察・実験の方法や器具の使い方を動画で確認できるよう工夫されている。</li> <li>・「確かめよう」「学んだことを生かそう」では、単元で学習したことの定着を図るための問題に取り組めるよう二次元コードが掲載されている。</li> </ul>	

種目名 理科	発行者名	学校図書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の答えを「わかったこと」として記載されており、その後には、新たな知識や解説を加えて示している。</li> <li>・安全のために特に注意することは、「注意」という記述で示されており、安全に注意して観察・実験を行えるよう工夫されている。</li> <li>・器具の使用方法は、観察や実験のページに簡潔に示されるとともに、巻末にもまとめられており、正しく器具が使えるよう工夫されている。</li> <li>・実験結果を写真や図、表やグラフで示すことで、視覚的にわかりやすいよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の過程で育成を目指す「資質・能力」をキャラクターで示すことで、児童が個々の力を親しみをもってとらえられるよう工夫されている。</li> <li>・問題解決の各場面では、リード文や、写真、イラストなどを用いて、児童の考えを引き出すよう工夫されている。</li> <li>・問題を見いだす場面では、話し合う活動が設定されており、話し合いを通して、児童が問題を自分自身のものとして捉えられるよう工夫されている。</li> <li>・巻末で「伝える・聞く」というページを設け、話し合いや発表をする際の留意点や対話の雛形を示すことで、対話を通して学びを深められるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や飼育する活動において、生物愛護や生命尊重の態度を育むための記述が「しぜんをたいせつにするために気をつけること」というマークで示されている。</li> <li>・「もっとしりたい」「やってみよう」などのコラムには、各単元に関する資料として、日常生活の身近な現象に関する発展的な内容が掲載され、科学的なものの見方や考え方を広げる工夫がされている。</li> <li>・SDGsの観点と学習することを結び付けて考えることができるように、各学年の裏表紙に単元名とSDGsの主な目標が示されている。</li> <li>・自由研究を解説した「わたしの自由研究」では、各学年に応じた問題解決の流れや、図書資料の紹介など、見開き2ページに簡潔にまとめられている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習の振り返り、単元後の振り返りが個々に応じてできるよう二次元コードが掲載されている。問題の解答チェックもすぐに行うことができるため、くり返し問題に挑戦できるよう工夫されている。</li> <li>・6年生の「電気と私たちの生活」では、プログラミング体験ができる二次元コードが掲載されている。</li> </ul>
------------	--

種目名 理科	発行者名	教育出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問題」に対してわかったことを「結論」として記述しており、「結論」の後には、新たな知識や解説を加えて示している。</li> <li>・裏表紙に「安全の手引き」が示され、教科書を開かなくてもすぐに確認できるよう工夫されている。</li> <li>・安全のために特に注意することは、「注意」や「きけん」と示されており、安全に注意して観察・実験を行えるよう工夫されている。</li> <li>・単元末の「ふりかえろう」では、学んだことを図で分かりやすく解説されており、テスト前の自主学習などに活用できるよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「見つけよう」から「結論」までの問題解決の過程が1本のカラーの線につながれており、問題解決の流れがわかるよう工夫されている。</li> <li>・見方・考え方を働かせた児童の発言例には、カギマークとマーカーをつけて示されている。</li> <li>・当該学年における問題解決の力を育成するために働かせたい考え方を「〇年のチカラ」として示されており、児童が意識しながら学習できるよう工夫されている。</li> <li>・「見つけよう」「予想しよう」「計画しよう」「結果から考えよう」の項目では、児童同士のやり取りがイラストと吹き出しで示されており、学習活動の内容が深められるように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育や観察を行う活動では、「地球となかよし」マークを用いて生物愛護や生命尊重に関する記述があり、生命を大切にしようとする態度を育むよう工夫されている。</li> <li>・「科学のまど」「資料」などのコラムには、各単元に関する資料として、日常生活の身近な現象や、生き物の生態に関する発展的な内容が掲載され、科学的なものの見方・考え方を広げる工夫がされている。</li> <li>・単元導入の「学習前の〇〇さん」と単元末の「学習後の〇〇さん」では、自らの学びを振り返り、児童が考えの変容を実感できるよう工夫されている。</li> <li>・6年生の「プログラムの利用」では、プログラミングが生活に活かされている例や、スクラッチを活用したプログラミングの方法が掲載されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まなびリンクコンテンツ」や「ウェブ図鑑」では、児童の学びを深めたり興味を引き出したりする動画や資料を確認できるように二次元コードが掲載されている。</li> <li>・単元導入の「学習のつながり」では、既習事項を振り返ることができるように、多くの単元において二次元コードが掲載されている。</li> </ul>	

種目名 理科	発行者名	一般財団法人信州教育出版社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習問題に対し、観察・実験を通して分かったことが、箇条書きで簡潔にまとめられている。</li> <li>・各単元末には、学習した大切なことをまとめたノートが例示されており、児童が学習内容をまとめる際の見本となっている。</li> <li>・安全のために特に注意することは、赤色の「注意」として示されており、観察・実験で気を付けることには、青色の「注意」として示すことで、何に注意すべきか一目でわかるよう工夫されている。</li> <li>・結果の例示は絵や文、表などで表されており、そのほとんどは児童がノートに書き記すように記述され、実際に児童が結果を記録するときに、参考となるよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「理科学習の進め方」では、問題解決学習の進め方を、児童にも分かりやすいように図で示されている。</li> <li>・単元の導入ページでは、既習事項や生活経験を想起させる文章と写真やイラストを用いて、児童が問題を見いだせるよう工夫されている。</li> <li>・いくつかの導入ページでは「見つけよう」のマークを表示し、話し合い活動・体験活動が設定されている。</li> <li>・問題解決の過程において、会話のやり取りがイラストと吹き出しを使って示されており、学習活動の内容が深められるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や飼育をする活動において、生物愛護や生命尊重の態度を育むための記述や、具体的な例が掲載されている。</li> <li>・「しらべてみよう」では、児童にとって身近な自然の事物・現象を教材化し日常との関わりを深められるよう工夫されている。</li> <li>・「しりょう」では、学習したことをもとに知識・理解をさらに広げ、身近な自然の事物・現象や科学史などに興味・関心がもてるよう工夫されている。</li> <li>・「やってみよう」のコラムでは、追加実験や観察、ものづくりなど、学習内容を発展させて取り組み、探究心を高められるよう工夫されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たしかめよう」では、単元で学習したことの定着を図るために、基本的な問題にチャレンジできるように、二次元コードが掲載されている。</li> <li>・学習の参考となる動画コンテンツなどの資料を確認できるように、該当ページの欄外に二次元コードが掲載されている。</li> </ul>	



種目名 理科	発行者名	株式会社新興出版社啓林館
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめ」の内容は、「問題」の答えとなるよう簡潔に表現されている。</li> <li>・単元末には、「まとめノート」が掲載されており、学習の要点を振り返って整理できるよう工夫されている。</li> <li>・安全のために特に注意することは、「注意」として示されており、数種類の安全マーク（「けが」「やけど」等の文字を入れたマーク）を示すことで、何に注意すべきか一目でわかるよう工夫されている。</li> <li>・結果の例が、絵や文、表などで示されており、実際に児童が結果を記録するときの参考となるよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問題をつかもう」から「まとめ」までの問題解決の過程が1本の点線でつながれており、問題解決の流れが一目でわかるよう工夫されている。</li> <li>・児童が意識的に理科の見方・考え方を働かされるよう、吹き出しの中で、理科の見方・考え方にあたる部分を緑色のマーカーで示されている。</li> <li>・単元の終わりには、単元の初めの課題に戻り、疑問を解決する場面を示すことで、学習したことの手ごたえが得やすくなるよう工夫されている。</li> <li>・各学年で重点的に育成を目指す「問題解決の力」に関わる場面において、児童が対話をするイラストを用いるなど、対話を通して思考を広げ、深められるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培や飼育については、正しい方法で行えるように詳しく説明するとともに、コラムでも発展させた内容が掲載されている。</li> <li>・観察や飼育する活動において、生物愛護や生命尊重の態度を育むための記述が「しぜんを大切に」というマークで示されている。</li> <li>・「くらしとリンク」では、実生活や実社会と関連付けたコラムが掲載されている。</li> <li>・「発電と電気の利用」では、プログラミングシミュレーターを使って、無駄のない電気の使い方について学習できるよう工夫されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末の「まとめノート」では、二次元コードから補充問題に取り組むことができる。また、「たしかめよう」「活用しよう」の問題には「スマート解説」が掲載されており、問題の解説動画を視聴することで、一人ひとりの理解度に応じて習熟度を高められるよう工夫されている。</li> <li>・巻末のWaCBTでは、コンピューター上で、映像から情報を読み取り、問題に答えるCBTコンテンツが掲載されている。</li> </ul>	

# 生 活

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

信 州 教 育 出 版

光 村 図 書

啓 林 館

## 観点の内容

### 生活科 目標

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科と各教科等との関連や、実生活（家庭・地域等）との関連を意識した学習活動をそれぞれ取り上げている箇所数</li> <li>・学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる記述の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動や体験を通して生まれた気付きが相互に関連付けられたり、既存の経験などと組み合わせられたりして、各教科等の学習や実生活の中で生きて働くものとなること。</li> <li>・思いや願いを実現する過程において、生活上必要な習慣や技能も活用されるものとして身に付けること。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえる）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）をそれぞれ具体的に例示している箇所数</li> <li>・言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動をそれぞれ具体的に例示している箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや願いを実現する過程において、児童が自分自身や自分の生活について、見付ける、比べる、たとえるなどの学習活動により、分析的に考えること。また、試す、見通す、工夫するなどの学習活動により、創造的に考えること。</li> <li>・児童が、気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって、他者と伝え合ったり、振り返ったりすること。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿を例示している図や写真の数</li> <li>・振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題（やってみたいこと）につながったりしている様子を例示している箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや願いの実現に向けて、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとすることを繰り返し、それが安定的に行われるような態度を養うことを目指す。</li> <li>・思いや願いを実現する過程において、自分自身の成長に気付くことや、活動の楽しさや満足感、成就感などの手応えを感じることができるよう留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 生活 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気付きが各教科等の学習や実生活の中で生きて働くものとなるように、生活科と「各教科等との関連」や、「実生活（家庭・地域等）」との関連を意識した発展的な学習活動を取り上げている箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 各教科等との関連記述「虫の体に関する記述（理科）」 実生活（家庭・地域）との関連記述「みんなのまちに伝わる遊びはあるかな」等</li> <li>・ 学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる記述の箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「何に気をつければいいのかな？（ルール・マナー等についての指導）」 「生き物図鑑（動物の世話の仕方に関する指導）」等</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえば）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）をそれぞれ具体的に例示している箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「どこが違うかな」→分析的に考える活動（比べる） 「輪ゴムを変えたらどうなるかな」→創造的に考える（試す）等</li> <li>・ 児童が気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動をそれぞれ具体的に例示している箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 探検カードの記載例→言葉、絵 発表の例→動作化、その他（歌・踊り）等</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿を例示している図や写真の数について調査を行う。</li> <li>例) 「どんな生きものをしているかな？（活動を引き出す発問）」 →見る・探す・触れる等</li> <li>・ 振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題（やってみたいこと）につながったりしている様子を例示している箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「もっとほかの場所も調べたいです」→次の課題（やってみたいこと） 「トマトのお世話をしっかりできるようになりました」→自分の成長の自覚等</li> </ul>

<p>デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・ 理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>
-------------------	--

# 調査結果

## 生活

		観点A		観点B		観点C		
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等		
調査研究事項	発行者	上	生活科と各教科等との関連や、実生活（家庭・地域等）との関連を	学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につなげる記述の箇所数	分析的に考える活動（見付ける、比べる、たどる）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）をそれぞれ具体的に例示している箇所数	言葉、絵、動作、劇化、その他に表現活動をそれぞれ具体的に例示している箇所数	児童が思いや願いをもち、見る・遊ぶ・触れる・作る・探す・育て・かかっているなど、対象に直接働きかけている図や写真の児童の姿を数	振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題（やつたり）を例示している箇所数
		下						
東京書籍	上		○	○	○			
	下		○	○	○			
大日本図書	上		○		○	○		
	下			○	○	○		
学校図書	上			○		○	○	
	下		○		○		○	
教育出版	上	○	○	○				
	下	○	○	○				
信州教育出版	上	○			○	○		
	下	○			○	○		
光村図書	上			○		○	○	
	下		○	○			○	
啓林館	上	○	○		○			
	下	○	○		○			

種目名 生活	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻末に「かつどうべんりてちょう」「ほんとうのおおきさいきものずかん」が記載され、各教科に関連する知識及び技能や生活上必要な習慣や技能について確認できるようになっている。</li> <li>・ 学びが家庭で生かされるような学習活動が例示されている。また、家庭での会話がイラストで示され、実生活での行動を促している。</li> <li>・ 「やくそく」「まなびい」で生活に必要なルールや技能について記載されている。</li> <li>・ 健康や安全への意識付けのために、ページの端に「どうぐをただしくあんぜんにつかおう」「てをあらおう」など、細かく記述されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の発言やつぶやきを含む活動の具体的な様子の写真や、言語活動をしている場面の挿し絵を多く取り入れた構成となっている。</li> <li>・ 小単元毎に、導入で何かを見つける活動を取り入れている。その上で、「何が、どんな、どこに、どのように」などの小見出しの付いたページへ発展させ、児童の思考につながる構成になっている。</li> <li>・ 観察カードや探検マップなど、絵や言葉でまとめるような表現が数多く例示されているため、多様な表現活動に生かせるようになっている。</li> <li>・ ICT機器を活用した表現活動につなげることができるよう、タブレット端末や電子黒板を活用した発表などの学習場面が例示されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が対象に直接働きかけている写真を見開き2ページに掲載するなど、大きな写真が使われており、児童の興味を引き出し、活動の見通しをもたせるための手立てとなっている。</li> <li>・ 児童の表情、特に笑顔に焦点が合った写真の掲載が、学習意欲を引き出す工夫となっている。</li> <li>・ 小単元の最後に、振り返りカードや、振り返りをする児童の写真やイラストが掲載されており、自分の成長を自覚したり、次の課題につなげたりするための手立てとなっている。</li> <li>・ スタートカリキュラムのページでは、児童が楽しそうに友だちや先生と関わっている写真が掲載してあり、入学初期の児童が安心して学校生活に臨めるような手立てとなっている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「デジタル生きもの図かん」や「秋のくらし図かん」、「まちのしせつ」など、学習内容に即した資料を二次元コードから閲覧することができる。</li> <li>・ 「なつのくいず」「かくれたいきものくいず」などクイズ形式の資料があり、単元の導入や終末等で活用することができる。</li> </ul>	

種目名 生活	発行者名	大日本図書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちゅうい」「やくそく」「てをあらおう」など、生活する上で必要な習慣や技能について記載されている。</li> <li>・「まなびかためいじん、かんさつめいじん」や「学び方名人、話し合い名人」等の資料が記載され、各教科での学びが活かされるように工夫されている。</li> <li>・「きらきらことば」「せいかつことば」では、実生活に役立つ具体的な表現方法が示されている。</li> <li>・児童が実生活との関連に気付いて学習活動が展開されるよう、参考となる写真やイラストが掲載されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとに独自のキャラクターが小単元の課題を投げかけている。そのため、課題をもたせやすく、学習の方向付けがしやすくなっている。</li> <li>・虫や植物などの観察カードが例示されており、表現活動の参考となっている。</li> <li>・活動の様子を板書例や児童同士の会話などで具体的に示しているため、表現活動に生かすことができるようになっている。</li> <li>・タブレット端末を用いた活動の様子が各所に例示されており、表現活動の幅を広げることができるようになっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の様子を表す写真には、児童の思いが吹き出しで表現されており、興味を引き出すとともに活動の見通しをもつことができるようになっている。</li> <li>・大単元の導入では、見開きで児童が対象に直接働きかける写真が使われており、学習への意欲を喚起している。</li> <li>・上巻には、「きもちマーク」が設定されており、入学直後の1年生が無理なく学習の振り返りができるようになっている。</li> <li>・大単元の終末には児童が書いた振り返りカードが掲載されており、活動を振り返ることで新たな気付きが生まれていることや、次の課題への意欲が生まれていることなどが例示されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の成長の様子や世話の様子、おもちゃの作り方など、動画で分かりやすく説明されている。</li> <li>・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の紹介やアレルギーについてなど、保護者向けの情報が用意されている。</li> </ul>	

種目名 生活	発行者名	学校図書株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の学習が生活科の学びで生きて働くよう、関連を意識した学習活動が示されている。</li> <li>児童の気付きを確かなものにつなげる写真や資料が記載されている。</li> <li>身近な人々や社会、自然と直接かかわる場面の資料が掲載されている。</li> <li>手洗いうがい、生活上の約束、防災・安全指導の資料など、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる記述がある。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の際の児童の思考や願いを吹き出しで表記することで、思考表現の方向性や観点を明確にしやすくなっている。</li> <li>巻末「まなびかたずかん」に小単元での思考力、判断力、表現力等の観点について例示されており、児童の経験や思いから思考、判断、表現へつなげる手立てとなっている。</li> <li>飼育、栽培に関わるページのほとんどに観察カードが掲載されており、学習過程での気付きや考えをまとめていくために活用しやすくなっている。</li> <li>対象と具体的にかかわりながら試したり、見通したり、工夫したりする活動写真が掲載されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が対象に直接働きかけている活動場面の写真が多く、児童の興味を引き出し、活動の見通しをもたせるための手立てとなっている。</li> <li>児童のイラストのセリフに疑問や気付き、振り返りなど、「学びに向かう力、人間性等」に関する内容が使われており、学習を進める際の手立てとなっている。</li> <li>小単元の最後に、振り返りカードや、振り返りをする児童のイラストが記載されており、自分の成長を自覚したり、次の課題につなげたりするための手立てとなっている。</li> <li>大単元の最後に「もっと…」という題で、次の課題や活動が例示されており、学習で得たことを活用していくための手立てとなっている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼育や栽培の仕方、おもちゃの作り方などについて、関連した動画コンテンツがあるので、視覚的に把握することができる。</li> <li>デジタルコンテンツについて、教員・保護者への説明があり、日本語総ルビや7か国語対応等の配慮がされている。</li> </ul>	



種目名 生活	発行者名	教育出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科と関連がある学習活動が多く取り入れられており、活動毎に「学びのポケット」が記載され、巻末の資料を参考にできるように構成されている。</li> <li>中学年以降の学びにつながる資料が、「はってん」として記載されている。</li> <li>学習内容と実生活とが関連付けられるよう、公園や商店街、野山など、地域で活動する写真や図が多く掲載されている。</li> <li>「手あらいうがい」マークが頻繁に示されるなど、生活習慣や防災・安全など生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる記載がある。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「きづく」、「かんがえる」、「ちょうせんする」、「つたえる」のように、各ページで付けたい力や活動内容が分かりやすいページ構成となっている。</li> <li>活動写真や観察カード、具体的な板書が盛り込まれており、活動場面をイメージしやすくなっている。</li> <li>「どこに、どんな、どのように」など、思考を促す箇所や見出しがあり、どんなことを考えさせるとよいか、分かりやすく示されている。</li> <li>単元終末に「なにをかんじたかな」のページがあり、活動に関わる学習カード等が例示されているため、絵や言葉で表現する際に生かすことができるようになっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>大単元のはじめに「わくわくスイッチ」という題のYES/NOチャートがあり、児童の興味を引き出し、活動の見通しをもたせるための手立てとなっている。</li> <li>キャラクター「いぐら」が、全編を通して気づきや疑問をつぶやいており、児童の興味を引き出す工夫がされている。</li> <li>大単元の最後に「なにをかんじたかな」というテーマで学習の振り返りする児童と教師の写真、「ぐんぐんはしご」という自己評価をする項目があり、自分の成長を自覚したり、次の課題につなげたりするための手段となっている。</li> <li>大単元の最後に「つたえたいな」という題で、学習内容を家族に伝える項目があり、学習の振り返りとともに、学習したことを家庭や地域へとつなげていくための手段となっている。</li> </ul>	

デジタル教材 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画「はじめのいっぽ」では、入学前の経験と小学校生活とをつなぐ構成となっており、児童の期待を膨らませ、不安を和らげる手立てとなっている。</li> <li>「デジタルずかん」、「いぐらドリル」や「わくわくシート」など、小単元毎に学習と関連した教材につながる二次元コードが記載されており、児童の興味を引き出したり、考えを広げたりするために有効である。</li> </ul>
----------------	--

種目名 生活	発行者名	一般社団法人信州教育出版社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域性を考慮した単元の構想がされており、直接体験を通した学びが示されている。</li> <li>・詩や歌、絵画など、他教科に関連した記述や活動が写真やイラストで例示されている。</li> <li>・季節の行事や雪遊びなどの自然体験活動、季節の植物を使った調理など、実生活とのつながりを意識した活動が例示されている。</li> <li>・生活上必要な習慣や技能についての記載では、イラストや考えさせる言葉が提示されており、主体的な考えを引き出させるようになっている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の移り変わりや生き物の飼育・栽培に関わる単元では、実生活や体験を重視したつくりになっており、生活経験に基づいた写真や挿し絵から思考を促すことができるようになっている。</li> <li>・具体的な活動場面の絵に独特の詩が記載されているページがあり、対象物の様子への気付きや思考を促すことができるようになっている。</li> <li>・多様な表現活動として、ダイナミックな制作活動や絵画、紙粘土、紙芝居、巻物など、多様な例が示されている。</li> <li>・観察カードやお世話になった方への手紙など、図や言葉による表現活動が具体的に例示されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が対象に直接働きかけている活動の写真や図が多く掲載されている。説明を省き、児童の自由な発想を大切に構成となっている。</li> <li>・「端午の節句」「おひなまつり」等、季節の変化とかかわりのある行事の写真や図が掲載されており、それらに込められた人々の思いに着目し、人とかかわりを大切にすることにつながるような構成となっている。</li> <li>・ヤギやウサギ、カナヘビなど生き物の飼育について、動物や世話をする児童の様子などの写真を掲載することで、命について考えるきっかけとなっている。</li> <li>・家族や地域の方々など、自分が幼いころに成長を支えてくれた人々とかかわる写真や図が掲載されており、自分の成長を実感しながら周りの人々への感謝の気持ちがもてるような構成となっている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節毎の植物や行事など、大單元ごとに関連のある画像がまとめて見られるようになっている。</li> <li>・児童の発達段階に合わせ、上巻は学習内容に関連する画像が掲載されている。</li> </ul>	

種目名 生活	発行者名	光村図書出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族とのかかわりや地域の方々へのインタビューなど、家庭・地域との関連を意識した学習活動が例示されている。</li> <li>・ 身近な対象について、これまでの経験を想起させるような写真やイラストが用いられている。</li> <li>・ 生活に必要な習慣や技術について、繰り返し確かめられるよう「きをつけよう」と明示されている。</li> <li>・ 別冊「ひろがるせいかつじてん」に、図鑑や生活上のルール、記録の仕方などが記載されている。また、学習活動に即して「みて!」と記載され、児童が自発的に確認できるようになっている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ページ見開きの下部に「どうすれば」「どのように」「どんな」のように、思考を促す箇所が設けてあり、考える視点をもちやすくなっている。</li> <li>・ 「ヨシタケさんのコーナー」は、児童の素直な思考をもとにしたもので、多様性を尊重している。そのため、児童の素朴な疑問を、多様な思考や課題意識に変えた指導に生かすことができるようになっている。</li> <li>・ 創造的に考える活動では、具体的な活動写真と言葉が掲載されていて、「試す・見通す・工夫する」ため、児童自ら思考をめぐらすことができるような工夫がされている。</li> <li>・ ICT機器を使った発表の例が各所に掲載されている。また、観察カードや新聞、ポスターや紙芝居など、多様な表現活動が例示されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ヨシタケさんのコーナー」では、児童一人ひとりの個性が尊重された学びの様子や気付きのヒントが図と文で描かれており、自信をもって学びへと向かうことができる手立てとなっている。</li> <li>・ 学校探検や花の世話、町の人々へのインタビューなど、対象に直接かかわる児童の表情豊かな写真が掲載されており、「やってみたい」という気持ちを引き出す構成となっている。</li> <li>・ 全ての小単元に「ふりかえろう」が設定されており、活動中に沸き起こった気持ちや、「みつけた」「くらべた」「たとえた」など、思考や態度について振り返ることができるよう工夫されている。</li> <li>・ 大単元末に振り返りのページが設定されており、友だちとの対話で言語化されたことを書きまとめるというステップになっている。また、そのことが日常生活につながる手立てとなる写真が掲載されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「けんこう」では手洗いやマスクの付け方、「あんぜん」では横断歩道の渡り方など、関連する内容でその都度動画で確認することができる。</li> <li>・ 巻末には、はさみやカッターナイフなど道具の使い方や近づいてはいけない危険な生き物等の情報が収められている。</li> </ul>	

種目名 生活	発行者名	株式会社新興出版社啓林館
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の発達段階や特性を踏まえた学習活動、他教科との繋がりを意識した活動例が多く示されている。</li> <li>・ 学習が実生活へつながるような活動を示したり、「ひろがるきもち」で意識付けをしたりしている。</li> <li>・ 動植物の写真、図鑑など多彩な情報が記載されている。</li> <li>・ 「こんなときどうしよう」「てをあらおう、うがいしよう」など、生活上必要な習慣や技能に関する指導について記載されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「わくわく、いきいき、ぐんぐん」で単元構成されており、「いきいき」では、多様な思考を引き出すための具体的なやり取りや活動写真が多く記載されており、思考を広げたり深めたりしやすい。また、「ぐんぐん」では、終末の表現活動が分かりやすく例示されているため、見通しをもった学びに生かせるようになっている。</li> <li>・ 写真やイラスト、思考ツールなどを使って思考を可視化した板書を含む学級の例示箇所があり、授業イメージが分かるよう工夫されている。</li> <li>・ 導入では児童の経験を引き出す記述（「どんな花や野菜を育てたことがあるかな。」など）があり、経験と思考をスムーズにつなぐことができるよう工夫されている。</li> <li>・ ICT機器を活用した探検の様子や発表場面の写真が多く掲載されており、表現活動の幅を広げることができるように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大単元のはじめに「わくわくタイム」という題で、学習対象の写真が掲載されており、児童の興味を引き出す手立てとなっている。</li> <li>・ 大単元の最後に「できるかなできたかな？」という題で、学習を通して目指すべき児童の姿が例示されており、振り返りをする手立てとなっている。</li> <li>・ 大単元の最後に「ひろがるきもち」という題で、学習したことを家族に話す様子や、生活に活かす様子が例示されており、自分の成長を自覚したり、次の課題につなげたりするための手立てとなっている。</li> <li>・ スタートカリキュラムのページでは、児童が楽しそうに友だちや学校と関わっている写真が掲載されており、入学当初の児童が安心して学校生活に臨めるような手立てとなっている。</li> </ul>	
デジタル教材 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「デジタルたんけんブック」が掲載されており、「じゅんびめいじん」「しぜんはかせ」「さいばいはかせ」「ぼうさいはかせ」等6つのコーナーがあり、写真や動画などの資料が学びを広げる手立てとなっている。</li> <li>・ 「まなびうえぶ」には、花の種の蒔き方や芽が出る様子、秋の自然を使ったおもちゃの作り方などの動画、生き物の飼い方や野菜の育て方のスライドなどの資料が揃っている。</li> </ul>	

# 音 樂

教 育 出 版

教 育 芸 術 社

## 観点の内容

### 音楽科 目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階（低=リズム、中=旋律、高=音の重なりや和音の響き）に適した学習活動を設定している箇所数</li> <li>・表現の技能を高めるための記述の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付き、理解するとともに、音楽表現を楽しむために、または表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けることができるように留意する。</li> <li>・それぞれの学年における「技能」の習得に関する学習が質的に高まっていること。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜の理解を深めるための工夫が見られる記述の箇所数</li> <li>・リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取るための活動を設定している箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるように留意する。</li> <li>・児童の発達段階や学習の系統性等を踏まえて、低学年では曲や演奏の楽しさ、中学年及び高学年では曲や演奏のよさなどとし、曲や演奏のよさなどを見いだししていくことが質的に高まっていること。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな演奏形態による教材数</li> <li>・聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実にかかわる教材・学習活動を設定している箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発達段階に応じて、低学年では「楽しく」、中学年では「進んで」、高学年では「主体的に」、音楽への関わりが質的に高まっていること。</li> <li>・音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図りながら、音楽表現をしたり音楽を味わって聴いたりする楽しさや、様々な音楽に親しむことができるように留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 音楽 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階（低=リズム、中=旋律、高=音の重なりや和音の響き）に適した学習活動を設定している箇所数について調査を行う。</li> <li>・表現の技能を高めるための記述の箇所数について調査を行う。 例) 曲想や活動のイメージ図・イメージ写真や挿絵</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜の理解を深めるための工夫が見られる記述の箇所数について調査を行う。 例) 音楽用語や記号についての説明や資料</li> <li>・リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取らせる活動が見られる箇所数について調査を行う。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな演奏形態による教材数について調査を行う。 例) 声楽・合唱・オーケストラ・和楽器等</li> <li>・聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実にかかわる教材・学習活動を設定している箇所数について調査を行う。 例) 「聴いて感じたことを話し合しましょう」等の記述がある教材</li> </ul>

<p>デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>
-------------------	--

# 調査結果

## 音楽

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
調査研究事項	発行者	発達段階（低リズ、高リ音の重なりや和音の響き）に適した学習活動を設定している箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	楽譜の理解を深めるための工夫が見られる記述の箇所数	リズム、強弱、形式などの音楽を取りつて活動を設定している箇所数	いろいろな演奏形態による教材数	聴き取ったことや感じ取ったこと、様々な方法で伝えたり見たりする教材・学習活動の設定
		1年生	○	○	○		
教育出版	2年生	○		○		○	
	3年生			○		○	○
	4年生			○		○	○
	5年生			○		○	○
	6年生		○	○		○	
	教育芸術社	1年生				○	○
2年生		○			○		○
3年生	○	○			○		
4年生	○	○			○		
5年生	○	○			○		
6年生	○				○		○



種目名 音楽	発行者名	教育出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻頭の「学習マップ」では、各題材の学習内容や学習の進め方が示されており、児童が見通しをもって学習できるよう配慮されている。</li> <li>・ 歌唱共通教材では、季節や情景を表すダイナミックな写真とともに縦書きの歌詞が示されており、詩の内容をイメージしながら歌えるよう工夫されている。</li> <li>・ 2年生以降の巻末に「音楽を表すいろいろなことば」が掲載されており、聴き取ったり感じ取ったりしたイメージを児童がどのような言葉で表せばよいか示されている。</li> <li>・ 高学年では、オーケストラスコアを掲載したり、オペラやミュージカルの曲全体を紹介したりするなど、発展的な学習となるよう工夫されている。</li> <li>・ 鍵盤ハーモニカやリコーダーの学習では、姿勢や楽器の構え方、奏法など、見本となる写真が示されており、少しずつ技能を習得できるよう配慮されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音符や休符、記号や用語の意味などが多数掲載されており、楽譜の理解が深まるよう配慮されている。</li> <li>・ 音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として見開きページに示されている。巻末ページには、「音楽のもと」がイラストによって分かりやすく示されている。</li> <li>・ 表現や活動の参考となる写真やイラスト文字などが掲載されている。</li> <li>・ 体を動かす活動を取り入れたり曲の流れを図で示したりするなどして、音楽を形づくっている要素をもとに思いや意図をもてるよう配慮されている。</li> <li>・ 聴き取ったことや感じ取ったことを書くページが設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年生で太鼓、4年生で琴や祭囃子、5年生で民謡と篠笛、6年生で琴と尺八を掲載し、日本の伝統音楽に親しめるよう配慮されている。</li> <li>・ 6年生で世界の音楽、ストリートピアノ、ジャズとクラシック音楽の出会いなどが掲載され、様々な音楽に親しめるよう工夫されている。</li> <li>・ 低学年では、見つけた音を友だちに伝える活動、中学年では、曲を聴いて面白いと感じたことを伝え合う活動、高学年では、音楽から気付いたことを話し合う活動が設定されている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二次元コードでは、短時間の動画で楽器の音色や演奏方法などが確認できるようになっている。</li> <li>・ 鑑賞曲の動画は、楽譜の画像が使用されており、再生する曲に合わせて演奏されている部分が光るようになっている。高学年では、オーケストラスコアも取り上げられている。</li> <li>・ 鑑賞や音楽づくりのワークシートへのリンクがあり、授業づくりへの支援となっている。</li> </ul>
------------	--

種目名 音楽	発行者名	株式会社教育芸術社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻頭の「学習マップ」では、各題材でどのように学習を進めていくのか、吹き出しで示し、児童が見通しをもって学習できるよう工夫されている。</li> <li>・ 題材名において、どのような学習をするのか明確に示されており、見通しをもって学習を進めることができるよう配慮されている。</li> <li>・ キャラクターによるアドバイスやつぶやきなどから、どのように学習に取り組むか児童がイメージできるよう工夫されている。</li> <li>・ 巻末の「ふり返りのページ」では、音楽を形づくっている要素をイラストや写真などで説明し、1年間で学習したことを確認できるようになっている。</li> <li>・ 1年生のリズム遊びにおいて、リズムや休符の表記が分かりやすく示されている。活動のイラストも発達段階を踏まえたものである。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達段階に応じて楽譜の理解を深めていけるように、音符、音楽用語、音階、演奏順序などについて説明されている。</li> <li>・ 音楽を形づくっている要素を絞って題材が設定されており、教材ごとに要素の働きを理解できるよう配慮されている。</li> <li>・ 学年のまとめとなる題材では、それまで学習したことを生かして活動できるよう設定されている。</li> <li>・ 「見つける」「考える」などの見出しで活動内容が示され、音楽を形づくっている要素を聴き取ったり感じ取ったりできるよう配慮されている。</li> <li>・ 音楽を形づくっている要素について、聴き取ったことと感じ取ったことを書くスペースが設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低学年では、歌や打楽器、中学年では、リコーダーや金管楽器、木管楽器、高学年ではオーケストラやリズムアンサンブルなど、発達段階に応じた演奏形態が設定されている。</li> <li>・ 1、2年生で手遊び歌やわらべ歌、3年生で祭囃子や締太鼓、4年生で琴や地域に伝わる音楽、5年生で民謡、琴と尺八、6年生で世界の音楽、雅楽が設定され、日本や世界の伝統音楽に親しめるよう配慮されている。</li> <li>・ 低学年では、鑑賞で気づいたことを伝え合う活動、中学年では、考えを出し合いながら音楽をつくる活動、高学年では、作詞者、作曲者、演奏者がどのような工夫をしているか見つけるための活動が設定されている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大半のページに二次元コードが掲載され、教材曲の主旋律を音で確認することができる。三点リーダーから再生速度を変更することも可能である。</li> <li>・ 鑑賞曲において、重なる旋律の1パートのみ聴くことができ、絵譜（旋律を図形で表したもの）で音の動きを確認することもできる。</li> <li>・ 音楽づくりのコンテンツでは、1人1台端末で音を選んだり旋律を選んだりできるようになっており、速度や音色も変えることもできる。児童が試行錯誤しながら音楽をつくることができるよう配慮されている。</li> </ul>
------------	---

# 図画工作

開 隆 堂

日本文教出版

## 観点の内容

### 図画工作科 目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、組合せ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える箇所数</li> <li>・材料や用具の取扱い、技法を紹介している箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を捉える形や色などの造形的な視点について児童が自らの感覚や行為を通して理解できるように留意する。</li> <li>・材料や用具の特徴を生かしながら、材料を用いたり用具を使ったりし、自分の思いを基に表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるように留意する。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の活動において、児童が創造的に発想や構想をしている箇所数</li> <li>・感じたこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなど、言語活動の充実に関わる学習活動を設定している箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、自分にとって新しいものやことをつくりだすように発想や構想をし、作品をつくったり見たりするときに、よさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深め、自分なりに対象や事象を味わうとともに、児童が自分なりに新しい見方や感じ方をつくりだせるように留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総題材数</li> <li>・生活や社会の中の形や色などに関する箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感性を働かせながら作品などをつくったり見たりすることそのものが、児童によって喜びであり、楽しみであることに留意する。</li> <li>・一人一人の児童が、形や色などに能動的に関わり、夢や願いをもち、心楽しく豊かな生活を自らつくりだせるように留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 図画工作 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、組合せ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える箇所については、図示や説明を加えたり、比較したりするなど、明確な意識付けが図られていたり、それらについて題材の中で触れているものについて調査を行う。</li> <li>例) 形の柔らかさ、色の冷たさ、色の組合せによる優しい感じ、面と面の重なりから生まれる前後の感じ、色の明るさなどについて記載されている箇所</li> <li>・材料や用具の取扱い、技法を紹介した箇所については、1種類の材料や用具技法の手順について示しているものについて調査を行う。題材の中で簡単に触れているものも含む。</li> <li>例) 各学年で取り扱う材料や用具の取扱い方を説明したり、技法が紹介されたりしている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p style="text-align: center;">思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の活動において、児童が創造的に発想や構想をしている場面において発言（吹き出し）とともに掲載している箇所について調査を行う。</li> <li>・感じたことや考えたことなどを話し合ったり、言葉で整理したりするなど、言語活動の充実に関わる学習活動を明確に設定している箇所について調査を行う。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p style="text-align: center;">学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総題材数は、各発行者が題材名としてあげているものについて調査を行う。</li> <li>・生活や社会の中の形や色などに関する箇所については、家庭、地域、社会で出会う形や色、作品、造形、美術などについて示しているものについて調査を行う。</li> <li>例) 食器、家具、衣服、用具、パッケージ、ポスター、伝統的な工芸品、建物など、児童を取り巻く生活の中にある様々な造形</li> </ul>

<p style="text-align: center;">デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>
---	--

# 調査結果

## 図画工作

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	形や色、動き、奥行き、組み合わせ、バランスなどを捉える箇所数	材料や用具の取扱い、技法を紹介している箇所数	表現の活動において、児童が創造的に発想や構想をしている箇所数	話したり、動いたり、言葉で整理するなどの学習活動を設定している箇所数	総題材数	生活や社会の中の形や色などに関する箇所数
開隆堂	1・2上			○	○		○
	1・2下	○		○			○
	3・4上		○			○	○
	3・4下		○	○		○	
	5・6上		○		○	○	
	5・6下		○	○		○	
日本文教出版	1・2上	○	○			○	
	1・2下		○		○	○	
	3・4上	○		○	○		
	3・4下	○			○		○
	5・6上	○		○			○
	5・6下	○			○		○

種目名 図画工作	発行者名	開隆堂出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童に意識を置いてほしい色や形などの造形的な要素について、分かりやすいリード文で示されている。</li> <li>・ 巻末の「学びの資料」では、材料や用具の取扱い、技法について多く掲載し、各題材のページでは、安全な使用方法や片付け方についても写真などを使って示されている。</li> <li>・ 工作では、児童の思いに合わせて製作できるように、切り込みを入れて紙を飛び出させたり、はとめや割ピンを使って紙を動かしたりする仕組みなどについて複数の方法が掲載されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の発想や構想を促したり広げたりするためのヒントが、キャラクターのコメントで示されている。</li> <li>・ 造形遊びについて、下学年では土や砂、粘土、新聞紙などの材料を使って児童が活動している様子、上学年では校庭や光があふれる広場などの場所が色セロハンや紐などを使うことで変化する様子に、焦点を当てた写真資料が掲載されている。</li> <li>・ 鑑賞の学習を中心に話し合う活動が設定されており、絵を見るポイントが詳しく示されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各題材のページに、「あわせて学ぼう」の欄が設けられており、他教科との関連が示されている。</li> <li>・ 巻末の「みんなのギャラリー」のページを中心に、伝統工芸や地域の行事などについて、全学年で取り上げられている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「はじめに」では、学習の導入で活用できるように、めあてや題材の内容について、説明のある動画が用意されている。</li> <li>・ 作品カードや鑑賞シート、振り返りシートを各自がダウンロードして活用することができる。</li> </ul>
------------	--

種目名 図画工作	発行者名	日本文教出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材のめあてに関する色や形などの造形的な要素について、多くの活動写真や児童作品を用いて視覚的に示されている。</li> <li>・粘土を握ったり、ねじったり、つけ加えたりするなどの表し方を工夫するためのヒントとして、手元の様子や道具を使っている場面が分かる写真資料が掲載されている。</li> <li>・巻末の「材料と用具の引き出し」では、写真や図を使うとともに、項目や番号を用いた見やすいレイアウトで、用具の使い方の手順が説明されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が活動する写真に、豊かな発想や構想を生み出すきっかけとなるような吹き出しやコメントを添えて掲載されている。</li> <li>・5、6年生では、思考を深めたり広げたりするためのアイデアスケッチやシンキングツールが例示されている。</li> <li>・表現や鑑賞の場面で、児童の気付きや感じたことについて、見合ったり話し合ったりする活動が多く取り入れられている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現と鑑賞を関連させ、両者を一体的に取り扱っている題材が多く設定されている。</li> <li>・生活や社会の中にある日用品や様々な伝統工芸に使われている形や色に関しては、学年が上がるにつれてその数が増え、発達段階に合わせて様々な作品などに出会える構成になっている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連資料「友だちの作品を見てみよう」では、教科書に掲載されていない児童作品の画像が10～20ほど掲載されている。</li> <li>・アニメーション制作・写真の切り取り、アートカード、シンキングツールなどの学習活動で使えるアプリケーションが用意されている。</li> </ul>
------------	---



# 家 庭

東 京 書 籍

開 隆 堂

## 観点の内容

### 家庭科 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住の生活についての基礎的・基本的な理解に関わる学習活動を設定している箇所数</li> <li>・調理や製作などの技能に関する内容を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住の生活に必要な役割や働きに関する基礎的・基本的な理解について、調査や話し合い活動を取り入れ、児童が主体的に考えられるように留意する。</li> <li>・「調理の基礎」「生活を豊かにするための布を用いた物の製作」の技能の定着を図るためには、必要な材料、用具、手順、時間等の見通しをもち、目的に応じた安全な取り扱いについて理解できるように留意する。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活で活用するための教材や学習活動を設定している箇所数</li> <li>・問題解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族・家庭生活についての課題と実践」において、衣食住の生活や消費生活・環境で学習した内容との関連を図り課題を設定し、実践的な活動を家庭で行うことができるように留意する。</li> <li>・問題解決的な学習においては、解決方法を考えたり、計画を立てて評価・改善したりする際、他者との意見交換などを通して、多角的に検討できるように留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児や高齢者など異なる世代の人々との関わりについて、生活をよりよくしようと工夫する学習活動を設定している箇所数</li> <li>・各教科等と関連をもたせた指導に関する内容や、道徳の内容と関連をもたせた指導を設定している教材の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々との関わりについて問題を見だし、その解決方法について話し合うことを通して、生活をよりよくするためにどのように工夫できるか考えることができるように留意する。</li> <li>・各教科や道徳等の指導内容との関連を図るとともに、中学校家庭分野における学習を見据え、児童の日常生活とのつながりを重視し、家庭や地域における実践に結びつけることができるように留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 家庭 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住の生活の「食事の役割」「栄養を考えた食事」「衣服の着用と手入れ」「快適な住まい方」に関する基礎的・基本的な知識の理解に関わる教材の数について調査を行う。</li> <li>例) 栄養素のはたらき、用具の名称等</li> <li>・「調理の基礎」「生活を豊かにするための布を用いた物の製作」の技能の定着を図る内容等について調査を行う。</li> <li>例) 青菜のゆで方、手縫いの仕方等</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族・家庭生活についての課題と実践」において、衣食住の生活や消費生活・環境で学習した内容との関連を図り、課題を設定し、実践的な学習活動を設定している教材の数について調査を行う。</li> <li>例) 家庭で実践しよう、深めようなどの表記や実践を促す教材数</li> <li>・児童が解決方法を考えたり、計画を立てて評価・改善したりする際、他者の意見を取り入れたり、計画どおりにできたかを振り返ったり改善方法を考えたりできるよう、書き込み部分の数や話し合い活動を具体的に設定している数について調査を行う。</li> <li>例) 話し合おう、考えよう、振り返ろうなどの表記や、書き込める箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々との関わりについての問題を見いだしたり、生活をよりよくしようと工夫したりする学習活動を設定している教材の数について調査を行う。</li> <li>例) 家族と関わる際の課題や、実践の工夫が促されている箇所</li> <li>・各教科や中学校の技術・家庭科(家庭分野)と関連をもたせている箇所、道徳の内容と関連づけて指導できる箇所の数について調査を行う。</li> <li>例) 他教科や中学校で学ぶ内容、道徳の内容項目と関連がある箇所(データや解説、注釈も含む)の数</li> </ul>

<p>デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>
-------------------	--

# 調査結果

## 家庭

	観点A		観点B		観点C	
	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
調査研究事項 発行者	衣食住の生活についての基礎的・基本的な理解に関わる学習活動を設定している箇所数	調理や製作などの技能に関する内容をとり上げている箇所数	日常生活で活用するための教材や学習活動を設定している箇所数	問題解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている箇所数	幼児や高齢者など異なる世代の関わりについて、生活活動をよりよくしようとする工夫する学習活動を設定している箇所数	各教科等と関連をもたせた内容や、道徳の内容と関連をもたせた指導を設定している教材の数
東京書籍			○		○	○
開隆堂	○	○		○		

種目名 家庭	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識の理解に関わる内容が「資料」としてまとめられ、その内容を確認するために、「調べよう」で調べる活動が設定されている。</li> <li>・各題材の「いつも確かめよう」で調理の基礎やミシンの使い方など技能の定着を図る内容がまとめられている。巻頭では調理実習を行うための留意点や調理用具の使い方について、巻末では調理実習や製作実習技能の内容がまとめられ、いつでも確かめられるようにしている。</li> <li>・作業をしている手が実物大写真であり、自分の手を重ねて持ち方などを確認することができる。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れに合わせて、ステップごとに「めあて」が設定されているので、学習内容が明確である。また、振り返った内容を巻頭の「成長の記録」に「次へのチャレンジ」としてまとめることで、2年間の学びの足跡を残すことができる。</li> <li>・問題解決的な学習が実現できるように3つのステップ（課題発見、課題解決・実践、評価・改善）で段階的に構成され、見通しがもちやすいように工夫されている。</li> <li>・「深めよう」では、これまで学んだことを総合的に活用して、工夫を共有したり、実践した内容を伝えたりできるように工夫されている。</li> <li>・学びを深めるために、「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」の活動内容がはっきりと示され、児童の主体的な学びや対話的な学びにつながるように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間の学習の流れの中で、「夏休みわくわくチャレンジ!」「生活を変えるチャンス!」など、実生活に結び付けた実践の場を設定し、児童自らが生活の中から課題を見つけ、学んだことを活かして、よりよい生活を目指して課題解決できる内容構成になっている。また、各プロセスの具体的な取組み方法についても示されている。</li> <li>・「プロに聞く!」では、学習内容に関わる仕事をされている方へのインタビューから家庭生活をよりよくするための知識及び技能のヒントを得ることができるように工夫されている。</li> <li>・家庭科の学習内容について、他教科や中学校技術・家庭 家庭分野との関連が分かりやすいようにアイコンで示されている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用できるシートが2種類あり、「トライシート」はデジタル思考ツールとして課題発見の手掛かりとなる。また、「ワークシート」は学びを記録し、生活に生かすことができるように工夫されている。</li> <li>・動画資料は、再生、停止、ボタン位置の切り替え、繰り返し、字幕の機能が提示され、1人1台端末が想定されている。</li> </ul>
------------	---

種目名 家庭	発行者名	開隆堂出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣生活と住生活、消費と環境の題材などを分けることにより細分化され、基礎的な内容から発展的な内容へと、題材の中で積み上げることができる。</li> <li>・教科書のサイズがA4判になり、ミシンの各部の名称や扱い方などが写真やイラストで大きく掲載されている。</li> <li>・基礎的な技能の習得に関わる内容について、製作や調理の手順などを追って写真やイラストを提示して、まとめられているので、見通しをもって学習することができる。</li> <li>・応用の調理例や作品例の具体的な製作手順などの掲載が豊富であり、発展的な学習や家庭での実践の際に活用できる。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材のはじめに「学習のめあて」がまとめられていて、学習で身に付けたい力が明確に提示され、課題意識がもつことができるように工夫されている。また、学習の振り返りでは、達成できたかどうか「学習のめあて」をチェックして確認できるようになっている。</li> <li>・「生かす・深める」では、生活をよりよくするための具体的な方法について場面を設定し、解決方法を考えるなどこれからの生活に生かしたいことを考えられるようにしている。</li> <li>・話し合いの場面が設定され、身に付けた知識及び技能を生かして、さらに考えや思いを共有したり深めたりすることができるような構成になっている。</li> <li>・教科書のサイズがA4判になり、書き込む内容が増え、題材の始まりでは「マイめあて」で、児童の興味・関心を自分の言葉で記述することができるように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活の課題と実践」では、5つのステップで細分化して、取り組み方を示している。家庭だけでなく、学校単位、地域単位で行える具体例が提示され、それをヒントに自分の「生活の課題と実践」に取り組めるように工夫されている。</li> <li>・スモールステップで、環境への取組ができるよう、各題材の中でSDGsに関連する内容が取り扱われている。</li> <li>・衣食住に関連する文化についての特設ページが設定され、伝統的な文化についての視点で考えられるように工夫されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習や製作実習等の技能の習得に関わる動画においては、一連の流れだけでなく、手順ごとに分割されているので、視聴したい動画を選択できる。</li> <li>・教科書の記入シートをダウンロードして学習者用タブレット端末などで活用できる。</li> </ul>	

# 保 健

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

大 修 館

文 教 社

光 文 書 院

G a k k e n

## 観点の内容

### 体育科 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の健康」及び「けがの防止」において、「技能」の内容を取り扱っている箇所数</li> <li>・運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」において、運動に関する内容を取り扱っている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育や保健の見方・考え方を働かせることを通して、「各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関連している」ことを実感できるようにし、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための知識及び技能を習得させることに留意する。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する学習活動を取り上げている箇所数</li> <li>・実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりしている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に関する課題に対応して、自己の健康を保持増進するために的確に思考し、判断するとともに、それらを表現することができるような資質・能力の育成を目指すことに留意する。</li> <li>・健康に関する課題を解決するなどの学習活動を取り入れ、知識を身に付ける指導に偏ることなく、自ら考えたり、判断したりしながら実践的に理解できるように留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような事例や問の箇所数</li> <li>・身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の健康の大切さを認識し、健康の保持増進や回復等に主体的に取り組み、健康で豊かな生活を営む態度が身に付くように留意する。</li> <li>・現在及び将来にわたって健康で活力に満ちた楽しく明るい生活を営む態度が身に付くように留意する。</li> </ul>



## 調査方法

### 種目名【 保健 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の健康」及び「けがの防止」において、「技能」の内容を取り扱っている箇所数について調査を行う。</li> <li>例) ・問題やまとめ、吹き出しなどで、体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法など不安や悩みを抱えたときの対処法について記載している箇所</li> <li>・問題やまとめ、吹き出しなどで、すり傷、鼻出血、やけどや打撲などの簡単な手当について記載されている箇所</li> <li>・運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」において、運動に関する内容を取り扱っている箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「運動は、骨や筋肉を丈夫にする効果があるよ。」「全身を使った運動は病気の予防にとって大切だよ。」など、吹き出しやコラム、専門家の話などで運動と健康の関連について記載されている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する学習活動を取り上げている箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「次の事故はなぜ起こったのでしょうか。」「かぜをひきやすい理由を説明しましょう。」など、学習したことを活用したり、日常の生活体験から自分の考えを説明したりする活動が記載されている箇所</li> <li>・実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりしている箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「ぬれただっしめんで手をふいて、よごれが付いているかどうか、たしかめてみましょう。」など、問題に設定されているものや実験の写真や図学校医など専門家の話で実践的理解を促す内容が記載されている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような事例や問の箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 「病気の予防で学習したことを生かして、次のことについて考えてみましょう。」など問題に設定されているものや、「学習のまとめ」コーナー等で学んだことを活用している事例が紹介されている箇所</li> <li>・身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている箇所数について調査を行う。</li> <li>例) 思春期に起こる体の変化など、吹き出しや専門家の話等で自分の体の変化を肯定的に捉えられるような内容が記載されている箇所</li> </ul>
<p>デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>

# 調査結果

## 保健

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
調査研究事項	発行者	「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」	「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」	「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」	「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」	「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」	「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」
		「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」	「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」	「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」	「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」	「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」	「心の健康」及び「技能」の「けがの防止」
東京書籍	3・4年生			○		○	○
	5・6年生			○		○	○
大日本図書	3・4年生		○			○	○
	5・6年生	○			○	○	
大修館書店	3・4年生	○	○		○		
	5・6年生	○		○		○	
文教社	3・4年生		○		○		○
	5・6年生		○		○		○
光文書院	3・4年生		○	○	○		
	5・6年生		○	○	○		
Gakken	3・4年生	○		○	○		
	5・6年生		○		○		○

保健	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生の「心の健康」では、椅子に座ったままでできる呼吸法や軽い運動について取り上げられており、実践につなげやすいように工夫されている。</li> <li>・ 5年生の「けがの防止」では、イラストを交えながら、けがの手当の方法を分かりやすく説明されている。また、自転車に乗るときの基本的なルールについて自転車安全利用五則を示すことで、児童が実践しやすいように工夫されている。</li> <li>・ 3年生の「健康な生活」では、児童が利用する機会が多いパソコンやタブレット端末の使用における留意点が取り上げられている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な日常生活の体験や事例をテーマにした話し合い活動が取り入れられている。5年生の「けがの防止」では、けがの原因や防止について、児童が考える場面が設定されている。</li> <li>・ 4年生の「体の発育・発達」では、単元の導入において、実物大の赤ちゃんの靴の写真や手形を示したり、図やイラストを豊富に取り入れたりして児童が実感しながら考えられるような工夫がされている。</li> <li>・ 全ての単元において、専門家からの具体的なアドバイスを掲載することで、学びを深められるように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの単元にも振り返りを設定して、学習したことを想起したうえで、今後の実生活に生かせるようにしている。</li> <li>・ 4年生の「体の発育・発達」では、「体に、いつごろ、どんな変化が起きましたか。」という身近な大人へのインタビューコーナーを設けることで、誰もが思春期を迎えることを理解できるようにして、児童の不安を和らげる工夫がされている。</li> <li>・ 5年生の「心の健康」では、不安や悩みの対処方法について友達と話し合うことで、児童の不安を和らげることができるよう工夫されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生の「けがの防止」では、教室全体を観察できる写真が用意されており、児童が主体的に事故や怪我が起こりそうな場所を探することができるように工夫されている。</li> <li>・ 6年生の「病気の予防」では、実際に受動喫煙の実験を行うことで、喫煙に伴う健康被害についてより理解しやすいように工夫されている。</li> </ul>	

保健	発行者名	大日本図書株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の「けがの防止」では、「もっと知りたい！」のページで、けがや事故が起こった場所や原因、犯罪被害の起こる場所や時間についてグラフが掲載されている。また、自分の身の守り方を挿絵とともに説明されており、児童が理解しやすく、かつ実践しやすい内容になっている。</li> <li>・3年生の「健康な生活」では、手の汚れ実験の様子から、手洗いの大切さを児童が実感できるよう工夫されており、手洗い方法について写真とともに短く説明をされている。</li> <li>・4年生の「体の発育・発達」では、よりよく成長するために必要なことについて、児童がイメージしやすくなるよう挿絵とともに説明されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の「けがの防止」、6年生の「病気の予防」では、写真や絵、グラフが掲載されており、視覚から情報を得て考えたり、判断したりしやすいよう工夫されている。</li> <li>・各ページの下部には、ミニ知識が設けられており、実践を通して理解できるように工夫されている。</li> <li>・单元ごとに身近な日常生活の体験や事例での話し合い活動が設定されている。児童の生活における身近な出来事が言語活動として設定されており、思考力や判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「活かそう」の項目では、本時に学習した内容の中で、これから自分が取り組んでいきたいことを書き込むことができるようにして、主体的に学んでいけるよう工夫されている。</li> <li>・単元の終末に、学習内容を振り返ることで、今後の生活にどう生かしていくかを考えることができるように工夫されている。</li> <li>・4年生の「体の発育・発達」では、インタビューを通して、体や心の変化に個人差があることや、性別によって違いがあることなどが記載されており、人との違いを知ることで児童が安心できるように工夫されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロスポーツ選手が実際に作成した目標達成シートについて詳しく確認することができ、児童自身も夢や目標に向けて努力しようとする態度を高めることができるように工夫されている。</li> <li>・5年生の「けがの防止」では、車の特徴についての動画を視聴できるようになっており、児童の理解が深まるように工夫されている。</li> </ul>	

保健	発行者名	株式会社大修館書店
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生の「心の健康」では、不安や悩みへの対処方法が挿絵と説明で、児童が理解しやすく、かつ実践しやすいように工夫されている。</li> <li>・ 5年生の「けがの防止」では、けがの手当ての方法や熱中症の予防と手当、AEDの紹介や倒れた人がいた時の応急手当の仕方などを絵と写真を用いて児童が理解しやすいよう示されている。</li> <li>・ 3年生の「健康な生活」では、運動することが健康保持につながることを紹介されている。運動が苦手な児童も普段の生活の中で取り入れられる運動が紹介されており、運動を身近に感じられるような工夫がされている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各単元での話し合い活動で、身近な日常生活の体験や事例を題材にした活動が設定されている。学習した内容を基にして思考する場面と他者の意見を聞いて新たな気づきをメモする活動があり、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。</li> <li>・ 単元の導入では、著名人の体験談が掲載されており、児童の実践が促されるように工夫されている。</li> <li>・ 写真や絵、グラフが掲載されており、視覚的に捉えて考えたり、判断したりできるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎時間の「まとめ」の項目では、学習したことの中から、これから自分が取り組んでいきたいことや考えていくべきことを書き込むことができるようになっており、主体的に学んでいけるよう工夫がされている。</li> <li>・ 単元の終末に、学習したことを振り返り、今後の生活に活かしていきたいことを書く項目があり、継続して学べるよう工夫されている。</li> <li>・ 4年生の「もっと学びを広げよう！深めよう！」のページでは、人との違いや個人差を自分らしさとして捉え、心身の発育・発達の違いを肯定的に捉えることができる工夫がされている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各単元の終末に「ほけんクイズにトライ！」が設けられており、児童が意欲的に学習のまとめに取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>・ 5年生の「けがの防止」では、車の内輪差について、動画を使い説明されており、児童が理解しやすいよう工夫されている。</li> </ul>	

保健	発行者名	株式会社文教社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の「心の健康」では、体ほぐしの運動の仕方を紹介することで、体育科の学習においても意識しながら取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>・3年生の「健康な生活」では、日頃の生活の中に取り入れることができる運動について、イラストを交えて紹介することで、日常的な運動の実践につなげられるように工夫されている。</li> <li>・6年生の「病気の予防」では、歯ブラシの持ち方や歯の磨き方について、写真を使って分かりやすく説明されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生の「健康な生活」では、実験を取り入れることで、実感を伴った理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>・5年生の「けがの防止」では、事故の原因や危険な場所や行動について、吹き出しやイラストが用いられており、分かりやすく説明されている。</li> <li>・全ての単元において、写真やイラストを用いることで、児童の理解を促し、自分自身の生活に結びつけて考えることができるように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生の「体の発育・発達」では、体の発育・発達には個人差があることについて、体格差のある4年生児童の写真を示し、児童が理解しやすいように工夫されている。</li> <li>・全ての単元の終末にある「わたしの〇〇せん言」では、友達からの応援メッセージをもらう欄が設けられており、より意欲的に自分の課題に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>・5年生の「心の健康」に設けられている「もっと考えよう課」では、自分らしさや個性などについて取り上げられており、心身の発達を肯定的に捉えることができるように工夫されている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の「心の健康」では、緊張のほぐし方、腹式呼吸、体ほぐしの例などを動画で紹介することで、児童がすぐに実践できるように工夫されている。</li> <li>・6年生の「病気の予防」では、スポーツ選手や専門家のインタビュー動画を視聴できるようになっており、児童が意欲的に学習に向かえるように工夫されている。</li> </ul>
------------	---

保健	発行者名	株式会社光文書院
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4年生の「体の発育・発達」では、健康のために運動を取り入れやすくできるように、日常生活の中の運動例が紹介されている。個人や複数人で取り組める内容の両方が扱われており、活用しやすくなっている。</li> <li>・ 6年生の「病気の予防」では、グラフを使い、運動不足と生活習慣病との関係について説明されており、児童の理解を深めることができるように工夫されている。</li> <li>・ 他教科や他学年との学習のつながりが一目で分かるマークが示されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生の「健康な生活」では、身近な日常生活の体験や事例を題材にした話し合いが取り入れられている。</li> <li>・ 各単元で「広げよう深めよう」が設定されており、発展的な情報を示すことで、児童の理解が深まるように工夫されている。</li> <li>・ 「科学のとびら」の欄を設け、科学的な資料を掲載することで、学習内容の理解ができ、かつ思考力が深まるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の終わりの「学習のまとめ」では、支援を要する児童への配慮として、今後の生活に生かしていきたいことについて選択肢を設け、自己決定できるようにしている。</li> <li>・ 3年生の「健康な生活」では、発達段階に合わせて、タブレットやスマートフォンの使い方と生活リズムについて掲載することで、児童が自分の生活を見直すきっかけとなる資料が提示されている。自分の一日のスクリーンタイムを調べて、生活リズムが整えられるような基準も示されている。</li> <li>・ 高学年の単元においては、どの領域においても専門家のコメントやデータが豊富に掲載されている。それらにより、児童が健康や心身の発育などを肯定的に捉えられるような内容となっている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生の「心の健康」では、不安や悩み等への対処方法として、3つの体ほぐしの運動について動画で分かりやすく紹介されている。</li> <li>・ 5年生の「けがの防止」では、トラックの運転席からの視点を動画で確認することができ、車の特徴について、より詳しく理解できるように工夫されている。</li> </ul>	

保健	発行者名	株式会社Gakken
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての単元の終末には、「ほけんのはこ」が設けられており、5年生の「けがの防止」では、近年、増加している熱中症についての予防や手当について掲載されており、児童が生活するうえで役に立つ情報となっている。</li> <li>・5年生の「心の健康」では、運動領域とのつながりが明確に示されている。</li> <li>・3年生の「健康な生活」では、手の洗い方について取り扱われており、イラストを使って、分かりやすく説明されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の導入で、大きな写真が掲載されている単元があり、一目で学習課題がつかめるような工夫がされている。</li> <li>・3年生の「健康な生活」では、手に付いた汚れを確かめる実験が取り扱われており、汚れが可視化されることで児童が学習内容の理解を深められるよう工夫されている。</li> <li>・各学年の単元において、「かがくの目」が設けられており、実験等で確かめることができる資料や写真を掲載することで、児童の学習理解や科学的な認識を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の「心の健康」では、児童が抱える身近な悩みを例示し、それに対して専門家がアドバイスをすることで、児童の不安を和らげられるように工夫されている。</li> <li>・要点を絞って記述する項目が設けられており、焦点化して考えやすくなるよう工夫されている。</li> <li>・6年生の「病気の予防」では、喫煙や飲酒などを勧められた時の断り方を例示し、児童が考えやすいように工夫されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の「けがの防止」では、大きなけがや事故が身近で起こった時の通報の仕方が疑似体験できるように工夫されている。</li> <li>・専門家に対する実際のインタビュー動画が視聴できるようになっており、学習の理解をより深めることができるように工夫されている。</li> </ul>	



# 英 語

東 京 書 籍

開 隆 堂

三 省 堂

教 育 出 版

光 村 図 書

啓 林 館

## 観点の内容

### 外国語科 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞くこと」「話すこと [やりとり]」「話すこと [発表]」の技能別（領域別）の活動の箇所数</li> <li>・十分に音声に慣れ親しませた上で「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能の基礎的なものを身に付けることができるように留意する。</li> <li>・十分に音声で慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現について、発達の段階に応じて段階的に「読むこと」「書くこと」を加え、文構造の理解など、言葉の仕組みの理解を促す指導をすることに留意する。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な課題が設定された言語活動の箇所数</li> <li>・言語の使用場面が設定された言語活動の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な課題等を設定し、目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えを形成したり、推測しながら読んだり語順を意識しながら書いたりして、コミュニケーションを行い、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるように留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に取り組むことができるような段階的な言語活動を設定している箇所数</li> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深めるための題材を設定している箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が興味をもって取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れたり、自己表現活動の工夫をしたりするなど、様々な手立てを通して児童の主体的に学習に取り組む態度の育成を目指した指導をすることに留意する。</li> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解が深まることは、その言語を適切に使うことにつながるということに留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 英語 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞くこと」「話すこと [やりとり]」「話すこと [発表]」の技能別（領域別）活動の数について調査を行う。</li> <li>・十分に音声に慣れ親しませた上で「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の数について調査を行う。</li> </ul> <p>例) He/Sheを使った人物紹介について十分に音声で聞いたり話したりした後、自分が紹介したい人物について、He/Sheを書き写して人物紹介カードをつくる活動等</p>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な課題が設定された言語活動の数について調査を行う。</li> </ul> <p>例) 夢の時間割をつくり、みんなに紹介をする活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童の身近な暮らしに関わる場面」と「特有の表現がよく使われる場面」の言語の使用場面が設定されている言語活動の数について調査を行う。</li> </ul> <p>例) 家庭での生活、学校での学習や活動、地域の行事、挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内、旅行等、言語の使用場面が設定された活動等</p>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が興味をもって取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れたり、言語活動における理解の助けとなるような視覚資料等の設定をしたり、他教科等と関連付けたりしている箇所数について調査を行う。</li> </ul> <p>例) 行きたい国を友だちとやり取りした後、海外旅行のパンフレットを模した紙面を見ながら、行きたい国の有名な食べ物やおすすめの季節を学級で紹介する活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深めるための題材を設定している箇所数について調査を行う。</li> </ul> <p>例) 日本の学校生活と様々な国の学校生活について情報を得る活動等</p>

<p style="text-align: center;"><b>デジタル教材について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>
--	--

<p style="text-align: center;"><b>デジタル教科書</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブ・スピーカー等が話す音声を速さや聞く箇所を選択して聞くことによって、語彙や表現の習得が可能となる音声読み上げ機能の有無について調査を行う。</li> </ul> <p>例) 速さや聞く箇所を選択して聞くことができる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の使用場面が設定された言語活動を速さや聞く箇所を選択して聞くことができる動画の有無について調査を行う。</li> </ul> <p>例) 言語の使用場面を意識しながら、視覚的な情報も参考に、短い話の概要を捉えることができる動画等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き込んだ内容に基づいて話し合うなど、交流することにより、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じた内容に再構築することを促すことができる書き込み機能の有無について調査を行う。</li> </ul>
---	--

# 調査結果

## 英語

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行者	調査研究事項	能別（領域別）の活動の箇所数 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」「やりと	親しむ活動の数 十分に音声に慣れ親しませた上で「読むこと」「書くこと」に慣れ	動具体的な課題が設定された言語活	活動言語の使用場面が設定された言語	いる主体的に取り組むことができるよ	て外国語の背景にある文化に対する理解を深めるための題材を設定し
	5年生	○			○	○	
東京書籍	6年生		○		○		○
開隆堂	5年生	○	○				○
	6年生	○			○		○
三省堂	5年生	○	○			○	
	6年生	○		○		○	
教育出版	5年生		○	○		○	
	6年生		○	○		○	
光村図書	5年生		○	○	○		
	6年生			○		○	○
啓林館	5年生				○	○	○
	6年生				○	○	○

種目名 英語	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実写映像を視聴するなど聞く活動の後に、学習した語彙や表現を使ったペアやグループで話す活動があり、「聞くこと」が「話すこと [やり取り] 」や「話すこと [発表] 」へつながる構成になっている。</li> <li>・6年生では、単元の初めから中盤に、例文の音声を聞いて読んだ文を1～2文程度ずつ書く活動がある。単元のまとめには、自分が話した内容を再度整理して書く活動がある。</li> <li>・6年生の各単元のまとめでは、やり取りや発表についてのモデル文を読む活動、それらを参考に話す活動、話したことを書く活動が設定されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介や思い出の紹介などをする際に「巻末コミュニケーションカード」のプロフィールカードやアルバムシートがあり、言語活動の場面設定がより明確になっている。また、それらを成果物として残すことができる。</li> <li>・自分が伝えたいことをより分かりやすく伝えたり、やり取りを続けたりするなど、目的や場面、状況などに応じた会話にするためのヒントなどが掲載されている。</li> <li>・単元の内容や進度に合った、具体的で適切な話題が設定されたスモールトークがある。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の学習に、段階的に取り組めるよう構成されている。(慣れ親しむ→定着を図る→コミュニケーションを楽しむ→世界の文化を知る の順)</li> <li>・単元の目標となる言語活動に向けて、それまでに学習してきた表現を確認し、それらを活用して会話の内容を広げることに取り組む活動がある。</li> <li>・各単元の終わりに、世界の人々や異文化、世界の今日的課題について学び、考える題材が設定されている。その際、世界の様々な話題や国について、児童自身が考えたことを書く活動がある。</li> </ul>	
デジタル教材 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元冒頭にある動画は、単元の目標となる活動のモデル映像となっており、見通しをもって学習を進める手立てとなっている。</li> <li>・ストーリーを伴った音声や映像により、目的や場面、状況を推測して聞いたり、自分が伝えたいことを考えたりすることができる。</li> </ul>	
デジタル教科書 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブ・スピーカーなどが話す音声を速さや聞く箇所を選択して聞くことによって、語彙や表現の習得が可能となる音声読み上げ機能がある。</li> <li>・言語の使用場面が設定された言語活動を速さや聞く箇所を選択して聞くことができる動画がある。</li> <li>・児童が、聞いた情報や自分の考えなどを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。</li> </ul>	

種目名 英語	発行者名	開隆堂出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞くこと」「話すこと」について、ゲーム的な要素のある活動が設定されている。</li> <li>・各単元の終わりに、これまでに学習した表現を用いた短い読み物があり、まとまった文章を読む活動が設定されている。</li> <li>・音声を聞きながら、慣れ親しんだ表現を指で追ったり、書いたりする活動が継続的に設定されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期末に、各単元で学習した内容を活用することができるか確かめる活動が設定されている。</li> <li>・言語の使用場面が設定されている「聞くこと」「話すこと」の活動が多く、「～のために」と活動の目的が明記されているものも多い。</li> <li>・単元のゴールに向けて、ペアでのやり取りから、グループでのやり取りや発表、クラス全体でのやり取りや発表というように、スモールステップでの言語活動が設定されている。様々な相手と伝え合ったり、伝える目的を変えたりしながら、「聞くこと」「話すこと」に慣れ親しむことができるようになっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の初めに、その単元で記録に残す評価の対象となる領域や観点、他教科等との関連が分かるマークがある。</li> <li>・各単元末および学期末に、異文化理解に関する題材が設定されており、SDGsに関連付けた内容も扱われている。また、その他の「聞くこと」の活動にも、異文化理解につながる内容が取り入れられている。</li> <li>・児童が国や地域に興味をもち、英語で紹介したいという意欲を高められるよう、日本各地の名所や名産などの地域教材が、様々な活動の中に取り入れられている。</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科との関連や異文化理解を深めるための資料動画は、聞いて内容を理解したり、話すための言語材料を知ったりする活動に活用できる。</li> <li>・写真やリアリティのある動画により、児童が目的や場面、状況を推測して聞いたり、自分が伝えたいことを考えたりすることができる。</li> </ul>
------------	--

デジタル教科書について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブ・スピーカーなどが話す音声を速さや聞く箇所を選択して聞くことによって、語彙や表現の習得が可能となる音声読み上げ機能がある。</li> <li>・言語の使用場面が設定された言語活動を速さや聞く箇所を選択して聞くことができる動画がある。</li> <li>・児童が、聞いた情報や自分の考えなどを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。</li> </ul>
-------------	---

種目名 英語	発行者名	株式会社三省堂
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく学習した表現に慣れ親しむための活動や、既習内容を繰り返し使用する活動が設定されている。</li> <li>・音声で慣れ親しんだ表現について、読む活動が設定されており、各単元の終末では聞いたり読んだりしたことや考えたことについて、話す活動が設定されている。</li> <li>・例文を読んだり自分が伝えたりしたことについて、1文ずつ書く活動が繰り返し設定されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間で、3つの大きなテーマに向けて学習を進めるようになっており、学期ごとに、具体的なゴールが設定されている。</li> <li>・学期ごとに設定された課題に取り組む前に、今までに学習した内容を振り返り、ゴールへの見通しをもつことができる活動が設定されている。</li> <li>・「聞くこと」「話すこと」の活動であるスモールトークが単元ごとに設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの大きなテーマに向けての学習の最初に、身に付けるべき内容を明確にし、見通しをもって学習を進めていくことができるよう、マイゴールを設定する活動がある。</li> <li>・HOP、STEP、JUMPの構成となっており、スモールステップを踏んでいる。</li> <li>・他教科と関連する学習が設定されている。 社会…県庁所在地、日本各地の名所・名物 算数…円グラフ 家庭…世界の食べ物、世界の給食 国語…スーホの白い馬</li> </ul>	

デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本各地の名所や名物を紹介する動画は、行きたい場所やおすすめの場所を伝え合う「話すこと」の活動に活用できる。</li> <li>・児童の興味や関心を高める映像により、児童が目的や場面、状況などを推測して聞いたり、自分が伝えたいことを考えたりすることができる。</li> </ul>
------------	--

デジタル教科書について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブ・スピーカーなどが話す音声を速さや聞く箇所を選択して聞くことによって、語彙や表現の習得が可能となる音声読み上げ機能がある。</li> <li>・言語の使用場面が設定された言語活動を速さや聞く箇所を選択して聞くことができる動画がある。</li> <li>・児童が、聞いた情報や自分の考えなどを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。</li> </ul>
-------------	---

種目名 英語	発行者名	教育出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞くこと」について、当てはまる絵を選ぶ活動が多いが、学習が進むにつれて、概要を捉える活動が設定されている。</li> <li>・文をなぞって書く活動や、巻末のワークシートに文を書き、単元終末の「話すこと [やり取り]」や「話すこと [発表]」につなげる活動がある。</li> <li>・絵を見ながら物語を聞いたり、読んだりする活動がある。6年生では、その後、登場人物の気持ちを考えながら、物語を演じる活動が設定されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の時間割、オリジナルメニュー作り、旅行案内など具体的な課題が設定され、自分の思いや考えを整理し、それらを表現する活動が単元の最後にある。</li> <li>・巻末に、あこがれの人や将来の夢など、自分の思いや考えを文で書き、掲示物として残すことができるワークシートが付いている。</li> <li>・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを整理した上で友だちとやり取りする活動がある。やり取りや発表の参考となる基本的な表現が吹き出しで記載されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年に、行きたい国や場所、したいことなどについて伝え合う意欲を高める「名所・名物マップ」がついている。魅力的な行事や食べ物、自然や動植物が絵と共に多く紹介されている。</li> <li>・ワークシートを使用して「できることの木」を協力して作成するなど、学級づくりにつながる活動や他教科での学びが生かせる活動が設定されている。</li> <li>・SDGsに関連がある内容を紹介するページがある。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている活動のモデルを示している音声や映像教材は、やり取りや発表の方法を知る手立てとなっている。</li> <li>・登場人物が実際にやり取りや発表をする動画により、目的や場面、状況などを推測して聞いたり、語句や表現を知ったりすることができる。</li> </ul>	
デジタル教科書について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブ・スピーカーなどが話す音声を速さや聞く箇所を選択して聞くことによって、語彙や表現の習得が可能となる音声読み上げ機能がある。</li> <li>・言語の使用場面が設定された言語活動を速さや聞く箇所を選択して聞くことができる動画がある。</li> <li>・児童が、聞いた情報や自分の考えなどを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。</li> </ul>	



種目名 英語	発行者名	光村図書出版株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習表現を意図的に扱い、定着を図る「話すこと」の活動がある。</li> <li>・学習した語句や表現をなぞったり書き写したりした後、声に出して読む活動が設定されている。</li> <li>・巻末には、各単元で1文ずつ英文を書いて残し、それらの英文を学年末に振り返るワークシートがある。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に詳しく尋ねたり伝えたりして、既習表現を加えることを促す、「話すこと」の活動が設定されている。</li> <li>・単元の終末に向けて、既習表現を思い出し、目的や場面、状況に応じた表現を考え、全体で共有することを促す活動がある。</li> <li>・各学年3か所に「まとめ」の言語活動がある。様々な国の小学生の生活や夢についての話を、聞いたり読んだりする活動や、これまでに学習した表現を活用して、「話すこと [やり取り]」や「話すこと [発表]」に取り組む活動が設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段階を踏んだ学習 (Hop! Step1 Step2 Jump!) を設定し、言語活動を繰り返しながら、自己表現できるようになることをゴールとする構成になっている。</li> <li>・他教科と関連する学習が設定されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>国語…日本語と英語の違い、文の組み立て、金子みすゞの詩</li> <li>社会…世界の友達に日本のことを紹介しよう</li> <li>理科…食物連鎖</li> </ul> </li> <li>・海外の小学生が話す映像資料を通して、外国の文化や生活について理解を深めることができる。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニメーション動画は、話すことに慣れ親しむために行うスモールトークのモデルになり、話したいという意欲を高める。</li> <li>・既習表現を使用してやり取りや発表をする動画により、今までに習った表現を思い出したり、目的や場面、状況などに応じたやり取りや発表について考えたりすることができる。</li> </ul>	
デジタル教科書について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブ・スピーカーなどが話す音声を速さや聞く箇所を選択して聞くことによって、語彙や表現の習得が可能となる音声読み上げ機能がある。</li> <li>・言語の使用場面が設定された言語活動を速さや聞く箇所を選択して聞くことができる動画がある。</li> <li>・児童が、聞いた情報や自分の考えなどを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。</li> </ul>	

種目名 英語	発行者名	株式会社新興出版社啓林館
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いて意味が分かった言語材料に慣れ親しむことができるチャンツが、毎時間設定されている。</li> <li>・音声で慣れ親しんだ表現を1～2文程度で書く活動や、単元終末のやり取りや発表の内容をまとめて4～5行程度で書く活動が設定されている。</li> <li>・単元終末の話す活動の前に、同じ話題についての例文を、動画を見ながら読む活動が設定されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現に慣れ親しむ「話すこと」の活動では、紙面に示されている内容を尋ね合うだけでなく、尋ねたいことを自分で選択してやり取りができるよう工夫されている。</li> <li>・登場人物がやり取りや発表をする映像を視聴し、目的や場面、状況などに応じた工夫について考える活動が設定されている。</li> <li>・相づちなど、コミュニケーションに役立つ情報を紹介しているコーナーが多数あり、巻末にもフレーズ集としてまとめられている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の前半に、児童が理解しやすい、線つなぎや○×クイズなどの聞く活動を行ってから、チャンツや簡単な話す活動などを経てやり取りや発表につなげ、最後に文を書いてまとめる構成になっている。</li> <li>・他教科と関連する学習が設定されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>国語…コミュニケーションに大切なこと</li> <li>社会…日本の地域やもの</li> <li>理科…天気の変化</li> <li>家庭…オリジナルランチメニュー</li> </ul> </li> <li>・各単元の終わりに、世界の様々な情報を紹介する異文化理解のページがある。また、世界各地の子どもたちが身の回りのこと、自分の国のことなどを話す映像を視聴して、自分たちとの共通点や違いを考える活動がある。</li> </ul>	
デジタル教材 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文が読み上げられる動画は、音声に合わせて文章を声に出して読む活動に使用することができる。</li> <li>・英文を読み上げるタイミングに合わせて画面に登場する写真により、音声と画像を頼りに、話の内容を理解することができる。</li> </ul>	
デジタル教科書 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブ・スピーカーなどが話す音声を速さや聞く箇所を選択して聞くことによって、語彙や表現の習得が可能となる音声読み上げ機能がある。</li> <li>・言語の使用場面が設定された言語活動を速さや聞く箇所を選択して聞くことができる動画がある。</li> <li>・児童が、聞いた情報や自分の考えなどを整理し、再構築できるようにするための書き込み機能がある。</li> </ul>	

# 道 徳

東 京 書 籍

教 育 出 版

光 村 図 書

日 本 文 教 出 版

光 文 書 院

G a k k e n

## 観点の内容

### 道徳科 目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値の理解に関わる学習活動の箇所数</li> <li>・現代的な課題に関する内容等、多様な教材の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値が人間らしさを表すものであることに気付き、価値理解と同様に人間理解や他者理解を深めていくよう留意する。</li> <li>・生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題などを題材とし、児童が問題意識をもって学ぶことができるように留意する。</li> </ul>
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動の箇所数</li> <li>・多様な考え方を生かすための言語活動の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を一面的に捉えるのではなく、児童自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解し、主体的に学習に取り組むことができよう留意する。</li> <li>・児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実させることに留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動の箇所数</li> <li>・各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう留意する。</li> <li>・各教科等と道徳科の指導のねらいが同じ方向であるとき、学習の時期を考慮したり、相互に関連を図ったりして指導を進めると、指導の効果を一層高めることができる。その際、各教科等と道徳科それぞれの特徴が生かされた関連となるよう留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 道徳 】

観点	調査した内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物教材以外の、道徳的価値の理解を深める教材の数について調査を行う。 例) コラム、先人の名言等を取り上げている箇所</li> <li>・生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応(情報モラル)等の現代的な課題などに関する内容等について調査を行う。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力、判断力、表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を多面的・多角的に考えるための学習活動に資する教材の数について調査を行う。 例) 友達のいいところ見つけ等、多様な考え方が生まれる活動</li> <li>・多様な考え方を生かすための言語活動について、書き込み部分の数や話し合い活動を具体的に設定した数について調査を行う。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動を設定している教材の数について調査を行う。</li> <li>・道徳科と各教科等との関連をもたせる指導、日常生活における実践につなげることができるような設定をしている教材の数について調査を行う。</li> </ul>
<p>デジタル教材について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか調査を行う。</li> <li>・理解を深める内容となっているか調査を行う。</li> </ul>

調査結果

道徳

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
調査研究事項	発行者	道徳的価値の理解に関わる学習活動の箇所数	等現代的多様な課題に関する内容	物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動の箇所数	多様な考え方を生かすための言語活動の箇所数	自らを振り返り、成長を実感したり、これからの学習活動の目標を見つけたりする学習活動の箇所数	各教科等と関連をもたせた実践と指導の日常生活に関する内容を取り上げている箇所数
		東京書籍	1年生	○	○	○	
2年生	○			○		○	
3年生	○		○			○	
4年生	○			○		○	
5年生	○		○				○
6年生	○		○				○
教育出版	1年生				○	○	○
	2年生				○	○	○
	3年生	○		○	○		
	4年生			○	○		○
	5年生			○	○	○	
	6年生			○	○	○	
光村図書	1年生		○	○		○	
	2年生	○		○		○	
	3年生	○		○		○	
	4年生	○				○	○
	5年生	○		○		○	
	6年生	○		○		○	
日本文教出版	1年生				○	○	○
	2年生			○	○	○	
	3年生			○	○	○	
	4年生			○	○	○	
	5年生			○	○	○	
	6年生			○	○	○	
光文書院	1年生	○	○				○
	2年生	○	○				○
	3年生		○	○			○
	4年生	○	○	○			
	5年生	○	○				○
	6年生	○	○				○
Gakken	1年生	○	○	○			
	2年生	○	○	○			
	3年生	○	○				○
	4年生	○	○				○
	5年生	○	○				○
	6年生	○	○				○

種目名 道徳	発行者名	東京書籍株式会社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止に関わる教材は、全学年同時期に配当され、「とびらページ」「教材」「つながる 広がる」の3つの要素からなるユニットが組み込まれている。現代的な課題については、学年ごとに系統立てた内容が組みこまれており、発達段階に合わせて道徳的価値の理解を深めることができるように工夫されている。</li> <li>・情報モラルを扱った教材では、児童の生活の中で起こりうる身近な問題から考えられるよう工夫されている。また、誰もが知っている、時代を拓く人の生き方に触れる教材もあり、児童が教材に共感できることを重視した内容になっている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「演じてかんがえよう」では、全学年において、演じる側・見ている側それぞれの立場の活動が示され、物事を多面的・多角的に考えることができるよう構成されている。</li> <li>・『「じぶん」について』のページが全ての学年にあり、体験的な活動の仕方を絵やワークシートを使って分かりやすく示している。また、道徳的価値の理解を深めるために適切な場面では、書き込み欄が設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、巻末に「学習の記録・道徳の学習をふり返って」のページがあり、学期ごとのまとめができるようになっている。児童自らが成長を実感できるようになっている。</li> <li>・教材の終わりについている「考えよう」では、下学年は自分を振り返る観点が多く、上学年では、日常生活における実践につなげるような観点が多く設定されている。</li> <li>・全学年、「つながる 広がる」のコーナーにおいて、他教科との学習とつなげたり、日常生活に広げたりできるように設定されている。コラムにはどの教科が関連付けられるかが記されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての教材に二次元コードが付いている。「ろうどく」・「スライドショー」・「デジタルノート」が掲載されている。</li> <li>・心のメーターや心情スケールなど、考えるためのツールがダウンロードでき、自分の考えを可視化しやすくしている。</li> </ul>	

種目名 道徳	発行者名	教育出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、いじめや情報モラルについてのコラムが掲載されている。学んだ教材の価値について実生活とつなげて考えられるように工夫されている。また、巻末には資料として、礼儀、相互理解、SDGs、などについて学びを深めることができる読み物が示されている。</li> <li>・全学年に補充教材が掲載され、生命の尊厳・自然・伝統と文化などについて深く学習できるように工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割演技の活動を設定している箇所が多く、自分事として考えることができるように工夫されている。また、「問題を解決しよう」のコーナーでは、自分だったらどうするかを考えさせるようになっており、児童が問題意識をもって学習することができるようになっている。</li> <li>・「深めよう」や「つなげよう」では、全学年において、学習したことについて友達と話合う活動を重視しており、多様な考えに触れられるように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、巻末に「学習を振り返ろう」のページがあり、学期ごとの振り返りや1年を通しての振り返りができるように構成されていて、児童が自分の成長を感じることができるようになっている。</li> <li>・各教材の初めに、主題と、ねらいとする道徳的価値に関する自分の経験を想起できるような教科書のキャラクターのセリフが掲載されている。</li> <li>・「深めよう」のコーナーでは、ねらいとする道徳的価値の理解を深めるために活用できる発問が設定されている。また、「つなげよう」のコーナーでは教材から学んだことを生かし、自分がこれからの生活でやってみたいことを考えさせる発問が設定されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての教材に二次元コードが付いており、教材の解説・登場人物のイラスト、写真等を開くことができる。</li> <li>・コラムの二次元コードからは、資料として参考になるホームページにつながるようになっている。</li> </ul>	



種目名 道徳	発行者名	光村図書出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代的な課題、「いじめ」「情報モラル」「自然」「共に生きる」については、教材とコラムのユニットが組み立てられており、児童がじっくりと課題に向き合えるように構成されている。また、児童にとって馴染みのある絵本作家、ヨシタケシンスケさんの「なんだろうなんだろう」が掲載されており、考える楽しさを味わえるようになっている。</li> <li>・ 3年生以上には、付録として、考えが整理できる思考ツール、「学びの道具箱」が紹介されている。また、SDGsと関連付けた日本の伝統文化や現代的な課題などに関する内容が偏りなく掲載されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「心をかよわそう」「準備体操」などのコーナーでは、発達段階に応じた話合いで役立つ言葉や話型を示すことにより、自分の考えを広げ深める具体的な手立てを得られるよう工夫されている。</li> <li>・ 「考えるヒント」では、役割演技の方法や話合いのポイントが挿絵とセリフ付きで掲載されていて、児童がねらいにせまれるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学年、巻末に教材ごとの学びを記録できる「学びの記録」がある。低・中学年は3観点にシールを貼ることで、高学年では一言感想を書きためたり3観点到印を付けたりすることで自分の学びを記録できるようになっている。</li> <li>・ 教材の初めには、ねらいとする道徳的価値に関する自分の経験を想起できるように、キャラクターのセリフが掲載されている。</li> <li>・ 「考えよう・話し合おう」のコーナーには、自分について振り返ったり日常生活において実践できるように考えたりする発問が記載されている。「つなげようのコーナー」では、他教科との関連について記されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いくつかの教材に二次元コードが掲載されている。教材文を音声で聞いたり写真を開いたりできるようになっている。</li> <li>・ 3年生以上の学びの道具箱では、思考ツールとしてフィッシュボーン、クラゲチャート等の使い方が掲載されている。</li> </ul>	

種目名 道徳	発行者名	日本文教出版株式会社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心のベンチ」と題したコラムが各学年5つずつ掲載されており、「いじめ」「情報モラル」「SDGs」「多文化共生」「自己肯定感」のテーマに合わせて系統的に配列している。グループ活動で、道徳的価値をより深く多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。</li> <li>・全学年、現代的な課題に関する内容については、偏りなく掲載されており、よりよく生きるために大切なことについて幅広く学ぶことができる。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぐっと深める」のコーナーでは、役割演技や書き込みをすることで、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。写真や挿絵が大きく入っていたり、活動内容が順を追って具体的に設定されたりしているので、価値について深く考えられるようになっている。</li> <li>・別冊の道徳ノートでは、教師の問いに対する自分の答え、友達の意見や話し合ったことを自由に書き込めるように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、別冊の道徳ノートがついており、学期ごとの振り返りのページがある。おうちの人からの書き込み欄もあり、学びを家庭でも広げることができるよう工夫されている。また、毎回の学習の振り返りが3つの観点で示されており、児童が自らの学びを実感することができる手助けとなっている。</li> <li>・主題とキャラクターによる吹き出しを掲載し、児童が道徳的価値について自分の生活を振り返り課題意識をもって考えることができるように配慮されている。</li> <li>・教材最後の「考えよう」「見つめよう・生かそう」では、低学年では、学習を通して気付いたことや考えたことを振り返る発問が多く、中・高学年では、これからの生活に生かしていくための発問が多く掲載されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教材に二次元コードが付いており、教材の音声・動画・ワークシート・道具箱等が掲載されている。道具箱の中にある思考ツールは、児童がタブレット上で操作できるようになっている。</li> <li>・道徳ノートにも二次元コードが付いており、1人1台端末で自分の答えや友達の意見、話し合ったことなどを自由に書き込めるようになっている。また、データを蓄積することができる。</li> </ul>	

種目名 道徳	発行者名	株式会社光文書院
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コラムには、「みんなでやってみよう」「情報モラル」「へこんでも立ち直る」「SDGs」「ことばのたからもの」の5つの項目が全学年系統立てて掲載されていることで、授業の学びを生かし、児童がより深い学びに向かうことができるようになっている。特に「へこんでも立ち直る」では、自己肯定感を高め、たくましく生きる子の育成を重視した内容になっている。</li> <li>・重点主題としている「いじめ」「命」「各学年の独自主題」については、扉ページ、教材2つでユニットを組み発達段階に応じ系統性をもたせている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書冒頭に「いろいろなやり方で考えてみよう」というページがあり、各学年の発達段階に応じた思考ツールが紹介されている。思考ツールを使うことで考えが深まる教材についても記されている。</li> <li>・「みんなでやってみよう」のコーナーでは、友達とより良い関係を築くための話合いの場面が設定されている。高学年では、話合い後の感想を書き込むことができ交流につなげられるようになっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、教科書の巻末に「学びの足あと」として自分の学びを見つめるコーナーがあり、学習の記録を積み重ねることができるように設定されている。</li> <li>・下学年では、「ひろげよう」のコーナーで、学習したことを基にして、これからの生活にどのように生かしていきたいかが考えられるように構成されている。また、家庭学習と関連付けている教材が多くみられ、学校で学んだことを家庭でも広げられるよう工夫されている。</li> <li>・上学年では、「ひろげよう」のコーナーで、学んだことを日常生活で実行できるような発問が多く記載されている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10教材程度に二次元コードが付いており、教材理解をサポートする写真や動画、参考Webサイト、登場する人物のメッセージなどを視聴することができる。</li> </ul>	

種目名 道徳	発行者名	株式会社Gakken
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いのち」、「みんなで（多様性）」、「みらいへ（キャリア）」の3つのテーマのユニットがあり、それぞれ、扉ページ、2つの教材、コラム「心のパスポート」で構成され、教材をつなげて考えを広げられるように工夫されている。</li> <li>・特に高学年において、児童が親しみやすい人物の生き方や、先人や偉人の教材を多く取り上げ、興味をもって自分の生き方について考えられるように工夫されている。また、それに合わせた詳しい資料が掲載されている。</li> </ul>	
B 思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年にあるコラム「心のパスポート」では、役割演技をしたり、友達の意見を聞いたりすることで、多面的・多角的に考えることができるようになっている。</li> <li>・「ふかめよう」のページでは、1時間の学習の主な流れが掲載されていて、活動内容が児童にも分かりやすいように具体的に示されている。児童が考えたことを書き込むことができるように作られている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年において、巻頭に「つながるわたし 広がるわたし」の書き込みページがあり、自分自身を見つめることができる内容になっている。</li> <li>・巻末に、「つなげよう ひろげよう」の書き込みページがあり、児童が1年間の学習を振り返り、今後の自身の生活につなげることができるよう工夫されている。</li> <li>・教材最後に設定されている「考えよう」のコーナーにおいて、低学年では、自分を振り返る発問が多く掲載されており、中学年からは、学習で学んだことを実生活に生かせるような発問が多くなっている。学年の発達段階を踏まえた工夫がされている。</li> </ul>	
デジタル教材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材の初めに二次元コードが付いており、作品の解説・写真・動画・ワークシートのいずれかが掲載されている。</li> <li>・教材によっては、「調べよう」で、外部サイトに移動し、関連ある内容について理解を深めることができる。動画や音声につなぐコンテンツが充実しており、子どもたちの感性を広げられるようになっている。</li> </ul>	

# 参 考 資 料

## 調 査 結 果 ( 数 値 )

国 語  
書 写  
社 会  
地 図 ( 社 会 )  
算 数  
理 科  
生 活  
音 楽  
図 画 工 作  
家 庭  
保 健  
英 語  
道 徳

調査結果

国語

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
調査研究事項	発行者	伝	情	話	上	歌	学	容
		き	報	す	書	的	習	的
		取	上	こ	く	章	指	と
		り	げ	と	こ	の	導	す
		上	て	取	と	種	要	る
		げ	い	り	し	類	領	学
		て	る	上	たり	や	の	習
		い	方	げ	学	内	言	課
		る	に	こ	習	容	語	題
		箇	関	と	活	に	活	の
		所	する	を	動	つ	動	誘
		数	内	学	を	め	例	い
		に	容	習	し	る	に	を
		関	を	課	たり	て	関	内
		する	取	題	学	、		
		内容	を	と	習	詩		
		を	取	し	過	、		
		特徴	取	て	程	短		
				活	数	文		
				動		学		
東京書籍	1年生	32	5	9	9	20	18	13
	2年生	27	9	6	10	18	23	15
	3年生	41	23	5	6	12	20	16
	4年生	36	21	5	6	12	20	15
	5年生	35	17	5	5	11	20	16
	6年生	31	21	4	6	9	30	15
	合計	202	96	34	42	82	131	90
教育出版	1年生	31	3	7	12	20	20	12
	2年生	35	10	5	10	16	21	15
	3年生	43	17	7	7	11	19	14
	4年生	41	17	6	7	11	19	13
	5年生	40	17	6	4	14	20	14
	6年生	41	14	3	7	13	21	12
	合計	231	78	34	47	85	120	80
光村図書	1年生	31	3	7	12	20	20	12
	2年生	35	10	5	10	16	21	15
	3年生	38	12	7	15	12	24	16
	4年生	38	18	6	13	13	22	15
	5年生	44	14	6	8	13	24	14
	6年生	41	13	6	9	11	25	18
	合計	227	70	37	67	85	136	90

# 調査結果

# 書写

		観点A		観点B		観点C
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
調査研究事項	発行者	観点A	観点A	観点B	観点B	観点C
		載点 数の 種類 や字 形、 筆順 の例 示掲	姿勢 や筆 記具 の持 ち方 など 書き 方 につ いて の注 意例 の数	手 本と なっ てい る文 字の 数	手 本に 関わ る例 示の 数	数 紙様 、紙 、半 横な 書き き例 や画 記具 の紹 介例 の書 手
東京書籍	1年生	318	26	418	41	19
	2年生	265	21	498	35	14
	3年生	352	25	1061	70	33
	4年生	291	22	974	75	28
	5年生	301	22	918	87	38
	6年生	249	17	853	113	39
	合計	1776	133	4722	421	171
教育出版	1年生	405	26	375	55	21
	2年生	456	25	543	53	25
	3年生	471	25	756	91	42
	4年生	477	23	680	111	45
	5年生	343	20	586	91	44
	6年生	204	16	564	60	54
	合計	2356	135	3504	461	231
光村図書	1年生	319	21	335	43	20
	2年生	384	24	492	53	16
	3年生	507	38	1027	62	34
	4年生	403	25	938	82	29
	5年生	351	24	968	51	49
	6年生	298	25	871	88	70
	合計	2262	157	4631	379	218

# 調査結果

## 社会

		観点A		観点B		観点C		
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
調査研究事項	発行者	所解にとや地 数すお関係統域 るけの係統や たの我がが めがの深化、 の教国の政治 材のの生活、 や学割にや国 習活につ際、 動のて社会 の簡理国史	をや年 促資表、 して料、 いるの比、 箇、図、 所意見、 数見の交 流や記 述	数扱を我 っ総が て合の いて国的 るにの 教理土 材解と や学産 習業 活の 動の の簡 所	所を財身 数高な近 めどの地 るの域 内親及 容を察 を取や 扱調 っ査 てるに 箇対 所す 有る 関 心	る習社 教の会 材問的 や学題 習事 活象 動に の簡 所 数 行 動 につ 体的 なに が学	習総自 活合分 動的 のに 簡理 所解 数する ための 社会 生活 や学	
								東京書籍
		4年生	95	322	17	16	188	36
		5年生	220	590	24	23	323	43
		6年生	234	732	29	17	299	26
		合計	618	1942	82	69	975	127
教育出版		3年生	63	319	12	11	140	45
		4年生	110	384	20	19	167	80
		5年生	156	600	20	23	134	64
		6年生	149	532	18	15	148	36
		合計	478	1835	70	68	589	225
日本文教		3年生	64	337	11	43	80	44
		4年生	82	487	20	45	109	70
		5年生	100	728	25	41	165	67
		6年生	119	709	20	39	145	27
		合計	365	2261	76	168	499	208



# 調査結果

## 地図

		観点A			観点B		観点C
		知識及び技能			思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等
発行者	調査研究事項	地図の活用方法を取り上げている箇所数	見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方を取り上げている箇所数	発達段階に応じた内容を取り上げている箇所数	基本図の数（世界地図、日本地域別図）	資料図の数（社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわり、その他）	巻末の統計資料の項目数
	東京書籍	3-6年生	32	57	89	69	65
	合計	32	57	89	69	65	24
帝国出版	3-6年生	21	42	63	41	98	46
	合計	21	42	63	41	98	46

# 調査結果

## 算数

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等	
発行者	調査研究事項	のける基数量や図形について基礎的な知識及び技能を身に付けるための学習のまとめ、公式や性質として扱っている事項の箇所数	「問題」の箇所数	「問題」の箇所数	「問題」の箇所数	「問題」の箇所数	「問題」の箇所数	「問題」の箇所数
		東京書籍	1年生	582	31	269	221	113
	2年生	1129	177	279	378	53	88	23
	3年生	1336	239	389	486	194	67	105
	4年生	1429	241	238	619	294	91	49
	5年生	984	172	360	612	222	121	82
	6年生	772	151	368	461	192	84	47
	合計	6232	1011	1903	2777	1068	460	338
大日本図書	1年生	537	80	233	217	190	16	52
	2年生	1004	147	281	281	96	36	32
	3年生	1383	155	379	431	200	102	85
	4年生	1633	182	262	428	290	73	56
	5年生	1167	180	417	370	191	110	94
	6年生	1073	135	391	358	187	66	72
	合計	6797	879	1963	2085	1154	403	391
学校図書	1年生	736	34	286	196	131	36	23
	2年生	987	196	264	620	89	93	32
	3年生	1115	217	405	616	236	149	82
	4年生	1497	226	254	719	249	136	43
	5年生	1245	218	387	599	234	186	41
	6年生	1034	150	388	1116	147	89	58
	合計	6614	1041	1984	3866	1086	689	279
教育出版	1年生	548	29	257	206	104	18	49
	2年生	891	135	258	348	87	93	32
	3年生	1284	173	323	496	212	78	121
	4年生	1332	177	216	572	255	54	67
	5年生	974	136	353	673	180	60	103
	6年生	875	103	373	457	97	79	93
	合計	5904	753	1780	2752	935	382	465
啓林館	1年生	879	37	309	198	123	20	47
	2年生	805	210	248	384	60	90	37
	3年生	1457	190	292	535	104	64	168
	4年生	1310	214	197	592	167	100	44
	5年生	994	210	224	565	102	93	54
	6年生	775	148	319	373	73	102	56
	合計	6220	1009	1589	2647	629	469	406
日本文教	1年生	589	30	250	203	131	20	47
	2年生	1271	171	260	365	67	37	21
	3年生	1542	218	398	467	202	46	98
	4年生	1484	227	267	203	262	107	45
	5年生	966	160	338	496	201	43	50
	6年生	962	97	349	433	97	79	93
	合計	6814	903	1862	2167	960	332	354

# 調査結果

## 理科

		観点A			観点B		観点C	
		知識及び技能			思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
調査研究事項	発行者	問題解決の過程を通して、何を	観察、実験において、器具や	観察記録や実験結果を絵や	問題の見だし、予想や仮説	問題解決の過程の中で、意	植物の栽培や昆虫の飼育等に	実生活や実社会と関連する読み
		明らかになったことや学習のまとめ	安全に使用する記述の筒所数	文、表、グラフで示している筒所数	例示している筒所数	取り入れられている筒所数	ていついて、筒所数	の筒所数
東京書籍	3年生	38	78	35	106	96	4	49
	4年生	42	97	39	128	108	0	61
	5年生	29	52	42	93	82	5	44
	6年生	44	130	48	115	102	1	56
	合計	153	357	164	442	388	10	210
大日本図書	3年生	29	35	41	118	103	5	40
	4年生	35	64	49	149	125	1	44
	5年生	22	49	41	112	91	3	40
	6年生	29	74	39	129	112	0	47
	合計	115	222	170	508	431	9	171
学校図書	3年生	27	34	38	110	85	4	32
	4年生	31	42	51	132	103	1	54
	5年生	27	32	50	111	84	6	35
	6年生	34	58	56	137	105	0	54
	合計	119	166	195	490	377	11	175
教育出版	3年生	46	39	56	137	107	3	26
	4年生	46	71	53	167	137	2	29
	5年生	29	53	54	110	90	7	46
	6年生	41	77	52	146	122	0	46
	合計	162	240	215	560	456	12	147
信州教育出版	3年生	44	29	47	52	55	6	44
	4年生	56	43	62	65	61	1	43
	5年生	43	21	39	50	47	8	33
	6年生	64	38	74	82	63	0	41
	合計	207	131	222	249	226	15	161
啓林館	3年生	38	39	41	94	75	3	28
	4年生	36	41	42	117	93	2	35
	5年生	35	38	47	112	95	7	24
	6年生	43	42	55	138	108	0	49
	合計	152	160	185	461	371	12	136

# 調査結果

## 生活

		観点A		観点B		観点C		
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等		
調査研究事項	発行者	上	生活科と各教科等との関連や、実	必要な活動の展開に即して、生活に	分析的に考える活動（見付ける、	言葉、絵、動作、劇化、その他に	児童が思いや願いをもち、見る・	振り返る活動を通して、自分の成
		下	生活科と各教科等との関連や、実	必要な活動の展開に即して、生活に	分析的に考える活動（見付ける、	言葉、絵、動作、劇化、その他に	児童が思いや願いをもち、見る・	振り返る活動を通して、自分の成
東京書籍	上	48	49	32	32	103	25	
	下	62	41	41	39	83	20	
	合計	110	90	73	71	186	45	
大日本図書	上	75	43	25	32	156	21	
	下	62	16	27	33	112	13	
	合計	137	59	52	65	268	34	
学校図書	上	71	31	30	34	190	28	
	下	71	38	29	41	118	30	
	合計	142	69	59	75	308	58	
教育出版	上	92	29	29	24	101	10	
	下	84	30	29	28	88	9	
	合計	176	59	58	52	189	19	
信州教育出版	上	68	17	5	21	208	4	
	下	53	5	11	20	182	6	
	合計	121	22	16	41	390	10	
光村図書	上	56	19	30	29	153	39	
	下	56	34	29	35	86	53	
	合計	112	53	59	64	239	92	
啓林館	上	109	46	29	34	113	23	
	下	86	35	34	48	107	18	
	合計	195	81	63	82	220	41	

# 調査結果

## 音楽

		観点A		観点B		観点C					
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等					
調査研究事項	発行者	いき（に）適した学習活動を設定している箇所数	律達段階（低リズム、中リズム、高リズム）の重なりや和音の響き	表現の技能を高めるための記述の箇所数	見られる記述の深めるための工夫が	楽譜の理解を深めるための工数が	リズム、強弱、形式などの音楽を	取るための活動を設定している箇所	いろいろな演奏形態による教材数	聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなどの言語活動の充実	したかかわる教材・学習活動を設定している箇所数
教育出版	1年生	40	33	39	23	3	2				
	2年生	39	25	40	25	7	4				
	3年生	31	45	84	31	13	2				
	4年生	22	20	51	33	16	3				
	5年生	30	12	72	41	13	5				
	6年生	30	16	75	39	20	5				
	合計	192	151	361	192	72	21				
教育芸術社	1年生	35	34	15	56	7	2				
	2年生	35	43	35	62	7	5				
	3年生	42	65	70	58	13	6				
	4年生	47	42	68	79	18	4				
	5年生	43	22	49	66	18	9				
	6年生	44	20	54	62	27	10				
	合計	246	226	291	383	90	36				

# 調査結果

## 図画工作

		観点A		観点B		観点C		
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
調査研究事項	発行者	形や色、動き、奥行き、組み合わせ、バランスなどを捉える箇所数	材料や用具の取扱い、技法を紹介している箇所数	表現の活動において、児童が創造的に発想や構想をしている箇所数	話し方や言葉で整理するなどの学習活動を設定している箇所数	感じたこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話したりする活動	総題材数	生活や社会の中の形や色などに関する箇所数
		開隆堂	1・2上	20	23	24	6	23
1・2下	11		25	29	1	23	10	
3・4上	14		17	16	4	22	11	
3・4下	9		26	20	2	22	14	
5・6上	6		13	11	4	20	9	
5・6下	8		18	14	4	19	17	
合計	68		122	114	21	129	69	
日本文教出版	1・2上	18	21	19	3	23	1	
	1・2下	9	26	19	2	23	2	
	3・4上	17	14	31	6	22	4	
	3・4下	19	24	14	2	19	15	
	5・6上	17	10	21	6	20	16	
	5・6下	12	19	16	9	19	23	
	合計	92	114	120	28	126	61	

# 調査結果

## 家庭

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行者	調査研究事項	衣食住の生活に関する学習活動を設定している箇所数	調理や製作などの技能に関する内容をとりあげている箇所数	日常生活で活用するための教材や学習活動を設定している箇所数	問題解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている箇所数	幼児や高齢者など異なる世代の人々との関わりについて、生活をよりよくしようとする工夫する学習活動を設定している箇所数	各教科等と関連をもたせた指導を設定している教材の内容や、道徳の内容と関連させた指導を設定している箇所数
	5・6年生	123	95	46	92	40	87
東京書籍	合計	123	95	46	92	40	87
開隆堂	5・6年生	222	118	42	128	41	90
	合計	222	118	42	128	41	90

# 調査結果

## 保健

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行者	調査研究事項	「心の健康」及び「けがの防止」	「運動領域との関連を重視する視点	「日常生活の体験や事例を題材にした話し合いや、思考を促す課題を解	「実践的理解を促すために実験など	「自己の健康に関する取組や自己の	「身近な健康や心身の発育・発達な
		「心身の健康」及び「けがの防止」	「運動領域との関連を重視する視点	「日常生活の体験や事例を題材にした話し合いや、思考を促す課題を解	「実践的理解を促すために実験など	「自己の健康に関する取組や自己の	「身近な健康や心身の発育・発達な
東京書籍	3・4年生	1	11	28	20	20	22
	5・6年生	15	9	63	37	31	8
	合計	16	20	91	57	51	30
大日本図書	3・4年生	1	17	26	26	16	18
	5・6年生	15	10	48	61	26	5
	合計	16	27	74	87	42	23
大修館書店	3・4年生	2	24	30	33	12	12
	5・6年生	14	6	57	51	24	4
	合計	16	30	87	84	36	16
文教社	3・4年生	1	16	21	23	10	13
	5・6年生	12	9	52	71	19	7
	合計	13	25	73	94	29	20
光文書院	3・4年生	1	16	27	32	11	15
	5・6年生	10	9	58	56	20	3
	合計	11	25	85	88	31	18
Gakken	3・4年生	2	11	26	29	12	10
	5・6年生	13	10	52	71	19	6
	合計	15	21	78	100	31	16



# 調査結果

## 英語

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
調査研究事項	発行者	能別（領域別）の活動の箇所数	親しむ活動の数	動具的 の箇所数	言語活動の箇所数	う主体的に いる段階的 な言語活動 を設定して	て理外国語の 背景にある 文化に 対する 設定し
		「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」「発表すること」「やりと	十分に音声に慣れ親しませた上で 「読むこと」「書くこと」に慣れ	具体的な課題が設定された言語活	言語活動の使用場面が設定された言語	組み組むことができるよ	ある文化に
東京書籍	5年生	192	30	6	65	31	7
	6年生	183	73	8	64	36	17
	合計	375	103	14	129	67	24
開隆堂	5年生	228	72	5	48	18	17
	6年生	214	71	9	63	24	18
	合計	442	143	14	111	42	35
三省堂	5年生	180	46	5	26	33	2
	6年生	178	44	8	24	31	4
	合計	358	90	13	50	64	6
教育出版	5年生	110	37	4	25	26	6
	6年生	84	48	9	23	24	6
	合計	194	85	13	48	50	12
光村図書	5年生	138	42	9	37	24	8
	6年生	134	46	10	35	30	13
	合計	272	88	19	72	54	21
啓林館	5年生	134	20	8	39	28	23
	6年生	129	48	8	44	26	15
	合計	263	68	16	83	54	38

# 調査結果

## 道徳

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行者	調査研究事項	道徳的価値の理解に関わる学習活動の箇所数	現代的な課題に関する内容等、多様な教材の箇所数	物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動の箇所数	多様な考え方を生かすための言語活動の箇所数	自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つめたりする学習活動の箇所数	数関日常教科等と関連をもたせた指導、する生活における実践との関連に
		東京書籍	1年生	11	18	19	6
2年生	9		13	9	7	24	12
3年生	13		14	4	10	27	10
4年生	11		14	8	9	22	16
5年生	11		21	7	11	10	28
6年生	12		23	5	8	14	26
合計	67		103	52	51	121	105
教育出版	1年生	5	9	11	48	34	17
	2年生	5	9	6	49	28	18
	3年生	5	12	3	63	14	19
	4年生	6	15	8	69	10	28
	5年生	7	21	6	60	15	25
	6年生	7	20	5	56	14	20
	合計	35	86	39	345	115	127
光村図書	1年生	6	12	15	8	28	6
	2年生	8	11	11	11	28	11
	3年生	12	17	10	15	23	20
	4年生	12	15	8	14	21	25
	5年生	13	18	10	16	17	20
	6年生	12	17	8	12	17	18
	合計	63	90	62	76	134	100
日本文教出版	1年生	6	11	10	48	43	17
	2年生	6	13	7	49	47	14
	3年生	6	13	7	52	26	23
	4年生	6	13	7	50	19	28
	5年生	6	20	6	51	23	29
	6年生	6	23	5	52	18	29
	合計	36	93	42	302	176	140
光文書院	1年生	9	17	11	6	11	24
	2年生	8	20	8	8	4	32
	3年生	6	21	4	8	5	34
	4年生	8	24	5	14	5	14
	5年生	9	25	2	10	4	17
	6年生	8	22	1	11	5	18
	合計	48	129	31	57	34	139
Gakken	1年生	11	16	15	16	11	11
	2年生	11	17	9	12	18	6
	3年生	12	25	6	15	5	21
	4年生	15	17	5	8	4	33
	5年生	13	21	6	7	5	35
	6年生	8	20	4	12	4	33
	合計	70	116	45	70	47	139